

熊本県院内がん登録データに係る統計

— 2019 年診断症例 —

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会

目 次

はじめに	1
収集データについて	2
院内がん登録 標準登録様式	3
統計使用項目一覧	5
統計独自項目	6
統計独自区分一覧	6
I. 施設全体統計	
がん登録部会参加施設 - 2019 年診断症例	9
1. 令和元年の熊本県の状況と 2019 年診断症例の件数に関する概要	10
2. 診断年別 登録件数	12
3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数	12
4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数	13
5. 診断年別 年代別登録件数	14
6. 診断年別 平均年齢	14
7. 性別年代別 主要部位別登録内訳	15
8. 主要部位別 登録件数と割合	16
9. 診断年別 主要部位別登録件数	16
10. 主要部位別病期分類(総合 Stage)	17
11. 主要部位別治療の内訳	17
12. 5大部位(総合 Stage 別)の主な治療内訳	18
13. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	19
14. 施設別 主要部位別登録件数	19
15. 施設別 治療(初回治療開始+初回治療継続)件数	20
16. 5大部位別 施設別治療の内訳	20
17. 施設別 患者住所構成割合	22
18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況	24
19. 集計年別 5年生存率の推移(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計報告書より)	25
II. 施設別統計	
国立大学法人 熊本大学病院	29
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	37
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	45
荒尾市民病院	53
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	61
熊本赤十字病院	69
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	77
一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	85
独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	93
独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	101
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	109
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	117
国保 水俣市立総合医療センター	125
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	133
一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	141
社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター 高野病院	149
山鹿市民医療センター	157
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	165
社会医療法人黎明会 宇城総合病院	173
球磨郡公立多良木病院	181
熊本市立 熊本市市民病院	189
医療法人社団愛育会 福田病院	197
<各施設別に以下作成>	
表紙(概要、コメント)	
① 患者住所医療圏別登録の状況(2019 年診断症例)	⑥ 診断年別主要部位別登録件数
② 平均年齢と年次比較	⑦ 主要部位別病期分類(総合 Stage)
③ 発見経緯 5大部位の内訳	⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)
④ 性別主要部位別件数と平均年齢	⑨ 主要部位別治療の内訳
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布	⑩ 5大部位(総合 Stage 別)の主な治療

はじめに

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会は、熊本県におけるがん対策を推進する目的で設置された「熊本県がん診療連携協議会」の一組織として、熊本県における院内がん登録の普及啓発、登録精度向上、登録データの利活用等の活動を行っています。

熊本県においては、がん診療の一層の均てん化を目的に、平成18年以降、国指定のがん診療連携拠点病院7施設と、熊本県が独自に指定している熊本県がん診療連携拠点病院13施設(令和2年度から新たに2施設が熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定)、その他に院内がん登録を実施している医療機関等に、本部会の活動に参画いただき、部会活動の拡充を図っているところです。

本統計資料は、部会活動の一環として平成21年度から発行しているもので、今回で13回目の発行となりました。部会参加24施設中、22施設の院内がん登録データ(2019年診断症例)を収集し、統計参加施設全体の集計と、施設別の集計を行いました。

熊本県全体のがん診療の状況とともに、各施設でどのようながんを対象に診療を行っているか、主としてどの地域のがん患者様を対象として診療を行っているかなどの状況を表す内容となっています。また、参加施設が自施設の集計データに関する分析を行い、その結果を掲載しています。集計データとあわせてご覧いただくことで、各施設のがん診療の特徴をより具体的に捉えていただけるものと考えています。

2019年診断症例は統計参加施設が1施設増え、またこれまでの参加施設の登録件数も増加傾向であったため、昨年に引き続き全体の件数も増えております。増加した814件のうち43%が新規参加施設の件数と、熊本地震被災で移転開院した施設の登録件数が増加したことが影響しております。そのため昨年同様、熊本県のがん患者が増加したと結論付けることはできず、今後も引き続き推移を見守る必要があると考えております。

本統計資料を取りまとめました令和2年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に翻弄された1年でした。がんの診断治療においても大きく影響を受けざるを得ない状況ですが、今後も県内外の医療機関と連携しながら、この難局を乗り切ることができればと考えております。

本統計資料が熊本県内のがん診療の状況をご理解いただくための一資料として、医療関係者をはじめ多くの方にご活用いただき、熊本県における院内がん登録推進の基盤となることを祈念しております。

令和3年3月
熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会長
熊本大学病院医療情報経営企画部長
がんセンターがん登録センター長

宇宿 功市郎

収集データについて

収集対象

2019年診断症例(2019年1月1日～12月31日)を対象とし、国(厚生労働省)指定のがん診療連携拠点病院7施設及び熊本県指定のがん診療連携拠点病院11施設、拠点病院以外のがん登録部会参加医療機関4施設、合わせて22施設から収集を行った。

登録対象は自施設における新規の診断症例または初診症例(他施設において初回治療が行われた後、自施設に初診した症例等)である。1腫瘍1登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種が生じた場合には、複数登録となる。また同一患者が同じがんで複数の部会参加医療機関を受診した場合、同じがんが重複して登録されるが、各医療機関において集計作業を行っているため重複の整理は行っていない。

また「がん登録等の推進に関する法律」の施行により2016年診断症例分から全国がん登録が開始され、従来の悪性新生物と頭蓋内良性腫瘍に加え、髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍が登録対象となった。

集計方法

国立研究開発法人国立がん研究センター提示による「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」において定義された標準項目に基づいて収集されたデータに、同センターがん対策情報センターが提供する品質管理ツールによる精度チェックまたはそれと同等の品質管理を実施したものを各医療機関において精査集計した。各施設の集計結果は部会事務局でもある都道府県がん診療連携拠点病院(熊本大学病院)において集約した。

なお、収集したデータの取扱いについては、いかなる場合においても患者個人情報が判明することがないように配慮している。そのため集計値が3件以下のものは「*」または非表示とした。

統計を利用する上での留意事項

登録データ収集の範囲は各施設によって異なっている可能性があるため、一概に比較することはできない。本統計は「各施設における院内がん登録データを使用し、その状況をまとめたものにはすぎない。」という点に十分留意していただきたい。

また、本統計について、分析して仮説を立て検証する段階をも含む個々の活動は、「疫学研究に関する倫理指針」の適用となる場合が考えられるので、研究活動等に利用するにあたっては、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会までお問い合わせいただきたい。

院内がん登録 標準登録様式 (項目一覧)

項目	項目名	分類方法	説明
900	病院等の名称		
100	診療録番号	施設で患者に固有にあてられている番号・記号	施設において患者を識別するための1患者1件の不変コード。
110	重複番号	1 第1がん 2 第2がん...	自施設における多重がんの有無を把握するための番号。
120	カナ氏名		
130	氏名	役職照会による予後調査のために、通称等ではなく、本名を登録	姓と名の間に、全角空白を入れるなど、分割可能な方法で登録。
140	性別	1 男 2 女	生物学的性別ではなく、患者の住民登録上の性別を登録する。
150	生年月日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する	
200	診断時道府県コード	01 北海道 ~ 47 沖縄 80 その他(外国) 99 不詳	
210	診断時住居	当該腫瘍が診断された時点での住所	
220	診断時郵便番号	ハイフンなしの数字7桁(不明の場合は9999999)	
300	原発部位(局在コード)	ICD-O-3 局在コード4桁 [C169]のように「.」を含まず入力する	
309	原発部位(学キスト)	原発部位・局在コードを学キストで補足する	
310	側性	1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし 9 不明	
320	病理診断(形態コード)	ICD-O-3 形態(M)コード8桁 8000/39 ~ 800039 の形で入力	
329	病理診断(学キスト)	病理診断・形態コードを学キストで補足する	
330	診断根拠	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの高値) 5 臨床検査 6 臨床検査 9 不明 ※4にPSAは含まない	患者の全診療経過を通じて施行された検査の中で、最も確からしい検査。初回治療後の検査も含まれる。
350	当該腫瘍初診日	当該腫瘍の診察のために初めて自施設を受診した日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する。)	当該腫瘍初診日については、[370]自施設診断日が「7777777」となる場合(術医で診断など)に、生存率計算などの起算日として用いる。
360	他施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (他施設が主体になって、その診断過程が実施された場合)	正確な診断日が不詳の場合は、他施設での治療開始日、入院日なども可とする。
370	自施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (自施設が主体になって、その診断過程を実施した場合)	
380	診断施設	診断施設が「自施設診断」の場合は「自施設診断日」、[他施設診断]の場合は「当該腫瘍初診日」	(起算日)
400	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、もつとも確からしい検査を施行した施設を特定するための項目。
410	治療施設	1 自施設で初回治療をせず 他施設で紹介されたはその後の経過不明 2 自施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設を受診して初回治療を継続 4 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診 8 その他	造血器腫瘍以外で、前医の初回治療が経路不明でその継続の場合は、「4」となる。 ※この初回治療とは、(初回治療としての)経路観察を含む。
420	症別区分	10 診断のみ 20 自施設診断・自施設初回治療開始 30 他施設診断・自施設初回治療開始 40 初回治療終了後 80 その他	当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。がん患者がどのような経路により自施設を受診したのかを把握できる。発見経路とは異なるものである点に留意。
450	来院経路	10 自主的受診 20 他施設からの紹介(他院・老健施設・がん検診・健診センター等) 30 自施設で他疾患経過観察中 80 その他 99 不明	当該腫瘍が診断された際の状況を判断する。初めて医療機関を受診した際を判断する。 ※検診・死亡一時のAutopsy imagingなどは解剖所見により発見された場合を指す。
460	発見経緯	1 がん検診・健康診断・人間ドック 3 他疾患の経過観察中の偶然発見 4 剖検発見(A含む) 8 その他 9 不明	
470	病名告知の有無	1 病名の告知あり 2 病名の告知なし 9 不明	
500	ステージ(治療前・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 4999 不明 7777 該当せず	※「該当せず」は対象部位以外または腫瘍以外などの時に用いる。
510	TNM分類(UICC)eT分類	1000 T0 1050 Ta 1010 Tis 1100 T1 1200 T2 1300 T3 1400 T4 1500 T4 1999 不明 7777 該当せず	
520	TNM分類(UICC)eN分類	2000 N0 2100 N1 2200 N2 2300 N3 2400 N4 2500 NX 2999 不明 7777 該当せず	
530	TNM分類(UICC)eM分類	3000 M0 3100 M1 3500 MX 3999 不明 7777 該当せず	
540	TNM分類(UICC)e付加因子	5110 G1 5120 G2 5130 G3 5140 G4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5250 SX 5300 症状なしA 5310 症状ありB 5410 核分裂像5以下 5420 5超 5511 乳頭/濾胞・45歳未満 5512 乳頭/濾胞・45歳以上 5513 乳頭/濾胞・55歳未満 5514 乳頭/濾胞・55歳以上 5520 髄液陽性 5530 未分化腫瘍 7001 胆嚢管 7002 肝門胆管 7003 遠位胆管 7100 未検査または不明 7101 いずれも陰性 7102 ERV陽性 7103 HIV/p16陽性 5999 不明 7777 該当せず	
600	ステージ(術後病理学的・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 6610 手術なし 6620 術前治療後 4999 不明 7777 該当せず	術後病理学的分類は、治療前分類を補足、修正するもの。 腫瘍リンパ節の範囲は、隣接臓器浸潤がある場合は、原発巣+浸潤部位(部分)の両方を領域リンパ節とする。 無分類が付与されている部位もある。
610	pTNM分類(UICC)pT分類	1000 pT0 1050 pTa 1010 pTis 1100 pT1 1200 pT2 1300 pT3 1400 pT4 1500 pT4 1999 不明 7777 該当せず	(初回治療継続症例で、自施設初回治療開始前に他施設で腫瘍の診断が実施されたとき、他施設から確実な病期分類情報を得られる場合、8000~8999コードを用いる。ただし現行において本統計冊子では使用しない。)
620	pTNM分類(UICC)pN分類	2000 pN0 2100 pN1 2200 pN2 2300 pN3 2400 pN4 2500 pNX 6610 手術なし 6620 術前治療後 2999 不明 7777 該当せず	
630	pTNM分類(UICC)pM分類	3000 pM0 3100 pM1 3500 pMX 6610 手術なし 6620 術前治療後 3999 不明 7777 該当せず	

項目	項目名	分類方法	説明
640	TNM分類(UICC)付加因子	5110 G1 5120 G2 5130 G3 5140 C4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5240 S4 5250 S5 5300 S6 5310 S7 5320 S8 5330 S9 5340 S10 5350 S11 5360 S12 5370 S13 5380 S14 5390 S15 5400 S16 5410 S17 5420 S18 5430 S19 5440 S20 5450 S21 5460 S22 5470 S23 5480 S24 5490 S25 5500 S26 5510 S27 5520 S28 5530 S29 5540 S30 5550 S31 5560 S32 5570 S33 5580 S34 5590 S35 5600 S36 5610 S37 5620 S38 5630 S39 5640 S40 5650 S41 5660 S42 5670 S43 5680 S44 5690 S45 5700 S46 5710 S47 5720 S48 5730 S49 5740 S50 5750 S51 5760 S52 5770 S53 5780 S54 5790 S55 5800 S56 5810 S57 5820 S58 5830 S59 5840 S60 5850 S61 5860 S62 5870 S63 5880 S64 5890 S65 5900 S66 5910 S67 5920 S68 5930 S69 5940 S70 5950 S71 5960 S72 5970 S73 5980 S74 5990 S75 6000 S76 6010 S77 6020 S78 6030 S79 6040 S80 6050 S81 6060 S82 6070 S83 6080 S84 6090 S85 6100 S86 6110 S87 6120 S88 6130 S89 6140 S90 6150 S91 6160 S92 6170 S93 6180 S94 6190 S95 6200 S96 6210 S97 6220 S98 6230 S99 6240 S100	原則として、骨、軟部組織、虫垂一帯、前立腺、精巣、嚢嚢リンパ腫、GIST、甲状腺、胆道系、頭頸部-原発不明、中咽頭に適用。それ以外は「該当せず」でよい。
550	肝癌の病期(治療前、取扱い規約)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4410 IVA期 4420 IVB期 4999 不明 7777 該当せず	肝癌以外の場合は、「該当せず」でよい。
580	進展度(治療前)	400 上皮内 410 限局 420 領域外へ転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 777 該当せず 499 不明	経時的な転移・変化の観察目的であり、施設間での比較に使いやすすい。
680	進展度(術後病理学的)	400 上皮内 410 限局 420 領域外へ転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 660 手術なし又は術前治療後 777 該当せず 499 不明	手術摘出検体をもとに行われた病理組織学的診断により、判断される。
700	外科的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
701	外科的治療の施行日(自施設)	(腫瘍)に対しての最初の外科的治療が自施設で施行された日	
705	外科的治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
706	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
710	鏡視下治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
711	鏡視下治療の施行日(自施設)	(腫瘍)に対しての最初の鏡視下治療が自施設で施行された日	
715	鏡視下治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
716	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
720	内視鏡的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
721	内視鏡的治療の施行日(自施設)	(腫瘍)に対しての最初の内視鏡的治療が自施設で施行された日	
725	内視鏡的治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
725	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
726	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
730	放射線療法の有無(自施設)	1 腫瘍進展なし 4 腫瘍進展あり 6 腫瘍的治療なし 9 不明 ※ 原発巣切除を伴わない転移切除の場合は、4に含める	当該腫瘍に対する外科的・鏡視下・内視鏡的治療の根治度をコードする。 初回治療として施行した腫瘍的治療の総合的な結果を記載する。
740	放射線療法(他施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
741	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	(腫瘍)に対しての最初の放射線療法が自施設で施行された日	
745	放射線療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
746	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
750	化学療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
751	化学療法(他施設)	(腫瘍)に対しての最初の化学療法が自施設で施行された日	化学療法には、分子標的薬などの薬物療法を含む。なお、分子標的薬以外の薬物を用いた免役療法は、その他の治療)を含む。
755	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
756	化学療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
760	内分泌療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
761	内分泌療法(他施設)	(腫瘍)に対しての最初の内分泌療法が自施設で施行された日	
765	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
766	内分泌療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
770	その他の治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
775	その他の治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
776	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
780	経過観察の有無(自施設)	1 自施設で経過観察開始 2 自施設で経過観察を開始せず 9 経過観察の有無不明	自施設・初回治療開始)であれば、初回治療情報の項目がいずれも「あり」または「経過観察を開始して」いる。
790	症状緩和的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
800	生存最終確認日	生存状況確認調査を行って、最終来院日となり生存が確認された日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に即って登録する)	
810	死亡日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に即って登録する	
820	生存状況	1 生存 2 死亡	
830	生存確認調査方法	10 来院情報 20 死亡退院情報 30 全国がん登録情報 40 夜間情報 50 他施設照会 60 本人・家族照会 80 その他 99 不明	

院内がん登録の登録対象及び登録内容等について

























- > 登録対象疾患：上皮内がんを含む全悪性新生物(頭蓋内・髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質性腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍も含む)。
- > 登録対象内容：原則、入院及び外来両部門。
- > 多重がん：同一患者に複数の独立した腫瘍(多重がん)が診断された場合は、それぞれの腫瘍について登録した(SEERのルール)。
- > 部位、組織診断名コーディング：「国際疾病分類-腫瘍学第3版 ICD-O-3」。
- > 病期分類：「UICC TNM 第8版」。

統計使用項目一覧

	ページタイトル	使用項目
施設全体統計	がん登録部会参加施設 - 2019年診断症例	症例区分
	1. 令和元年の熊本県との状況と2019年診断症例の件数に関する概要	患者住所区分、性別、年齢区分
	2. 診断年別 登録件数	施設名
	3. 診断年別 患者住所医療圏別 登録件数	患者住所区分
	4. 患者住所医療圏別 部位別 登録件数	患者住所区分、部位区分
	5. 診断年別 年代別 登録件数	性別、年齢区分
	6. 診断年別 平均年齢	(各施設の)平均年齢、登録件数
	7. 性別年代別 主要部位別 登録件数	性別、年齢区分、部位区分
	8. 主要部位別 登録件数と割合	部位区分
	9. 診断年別 主要部位別 登録件数	部位区分
	10. 主要部位別 病期分類(総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	11. 主要部位別 治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	12. 5大部位(総合Stage別)の主な治療の内訳	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	13. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	治療施設
	14. 施設別 主要部位別 登録件数	施設名、部位区分
	15. 施設別 治療(初回治療開始+初回治療継続) 件数	治療施設、施設名、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	16. 5大部位別 施設別 治療の内訳	治療施設、施設名、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	17. 施設別 患者住所構成割合	患者住所区分、施設名
	18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況	
19. 集計年別 5年生存率の推移(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)		
施設別統計	表紙(概要、コメント)	性別
	① 患者住所医療圏別 登録の状況(2019年診断症例)	患者住所区分、部位区分
	② 平均年齢と年代比較	診断時年齢
	③ 発見経緯 5大部位の内訳	発見経緯、部位区分
	④ 性別主要部位別 件数と平均年齢	性別、診断時年齢、部位区分
	⑤ 性別年代別 登録内訳と年齢分布	性別、年齢区分、部位区分
	⑥ 診断年別 主要部位別 登録件数	診断日(年)、部位区分
	⑦ 主要部位別 病期分類(総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	治療施設
	⑨ 主要部位別 治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	⑩ 5大部位(総合Stage別)の主な治療	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無

I 施設全体統計

がん登録部会参加施設 - 2019年診断症例

医療機関名(略称)	担当医療圏 <small>指定日(赤:国指定 青:県指定 緑:その他)</small>	登録件数	症例区分 ⁸⁰ の件数	初回治療の割合 (症例区分20~31)	収集対象	国立がん研究センター 2019年全国集計
 国立大学法人 熊本大学病院 (熊大)	全 圏 2006.08.24	3,577	79	83.3%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 (労災)	八 代 2007.01.31	843	17	78.9%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター (人吉)	球 磨 2007.01.31	659	12	80.7%	入院・外来症例	参加
 荒尾市民病院 (荒尾)	有 明 2008.02.08	540	5	75.0%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター (熊医療)	熊 本・鹿 本 2008.02.08	1,909	51	81.8%	入院・外来症例	参加
 熊本赤十字病院 (日赤)	熊 本・菊 池・阿 蘇 2008.02.08	2,053	91	81.2%	入院・外来症例	参加
 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 (済生会)	熊 本・宇 城 2008.02.08	1,866	50	81.6%	入院・外来症例	参加
 一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター (天地域)	天 草 2010.08.17	426	4	82.4%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院 (天中央)	天 草 2010.08.17	244	0	74.2%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター (再春)	菊 池 2010.08.17	233	4	81.1%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 (熊総合)	八 代 2010.08.17	740	11	82.4%	入院・外来症例	参加
 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 (熊中央)	熊 本 2010.08.17	1,235	0	86.7%	入院・外来症例	参加
 国保 水俣市立総合医療センター (水俣)	芦 北 2010.08.17	391	8	74.7%	入院・外来症例	参加
 医療法人創起会 くまもと森都総合病院 (森都)	熊 本 2011.11.07	980	3	83.8%	入院・外来症例	参加
 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター (熊地域)	熊 本 2011.11.07	516	2	79.8%	入院・外来症例	参加
 社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院 (高野)	熊 本 2011.11.07	383	1	66.8%	入院・外来症例	参加
 山鹿市民医療センター (山鹿)	鹿 本 2012.11.16	252	3	65.1%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 (熊本南)	宇 城 2014.02.28	302	5	29.1%	入院・外来症例	参加
 社会医療法人黎明会 宇城総合病院 (宇城)	宇 城 2014年度	41	1	39.0%	入院・外来症例	不参加
 球磨郡公立多良木病院 (多良木)	球 磨 2014年度	189	2	51.9%	入院・外来症例	不参加
 熊本市立 熊本市市民病院 (熊市民)	熊 本・上 益 城 2016年度	353	3	57.8%	入院・外来症例	参加
 医療法人社団愛育会 福田病院 (福田)	熊 本 2020年度	113	0	60.2%	入院・外来症例	参加
 阿蘇医療センター (阿蘇)	阿 蘇 2020.04.01	—				
 地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院 (玉名)	有 明 2014年度	—				

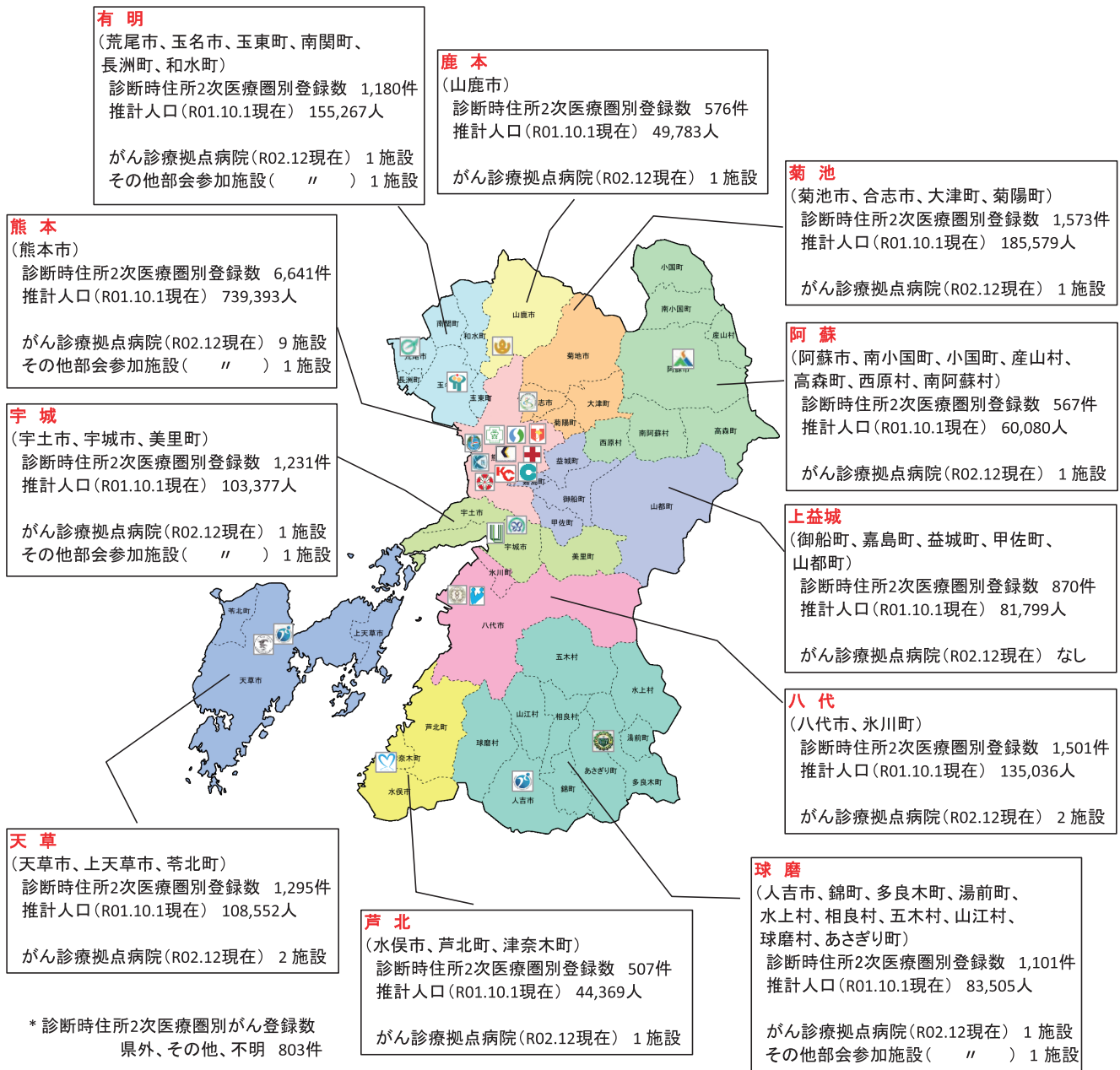
※医療機関名は2019.12.31現在の名称です。

※参加施設の掲載順を変更しました。 ◇ 注意
指定の種類→指定日→施設名昇順
本統計に参加していない施設は下順

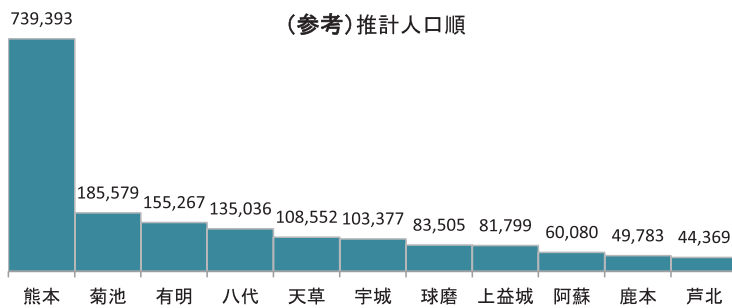
- > この統計資料は、がん登録部会参加施設24施設のうち22施設、計17,845件の2019年診断/初診症例データをもとに作成しております。取扱い等におきましては十分にご注意ください。よろしくお願いいたします。
- > 表中の略称は本統計全般で使用します。
- > 個人が特定できる可能性がある数値(3件以下)は「*」または非表示で掲載しています。
- > 特に注意書きがない頁は、収集した全症例(症例区分10、40、80も含む)で集計しています。

I 施設全体統計

1. 令和元年の熊本県の状況と2019年診断症例の件数に関する概要

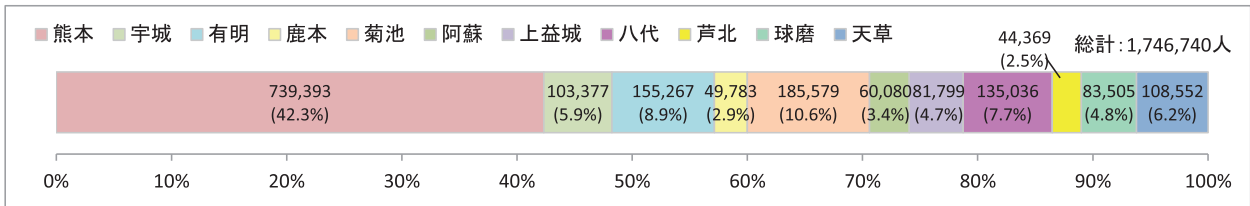


* 診断時住所2次医療圏別がん登録数
 県外、その他、不明 803件

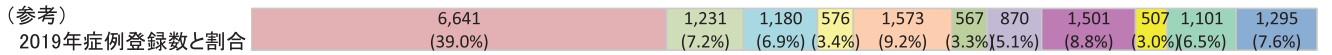


※ R02.12月(統計作成時)現在、がん診療拠点病院20施設(国指定:7、県指定:13)、その他がん登録部会参加施設(4)である。本年度の統計には熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会参加施設(拠点病院+その他の施設)のうち22施設が参加している。

(参考) 熊本県の推計人口と割合 (R01.10.01現在)



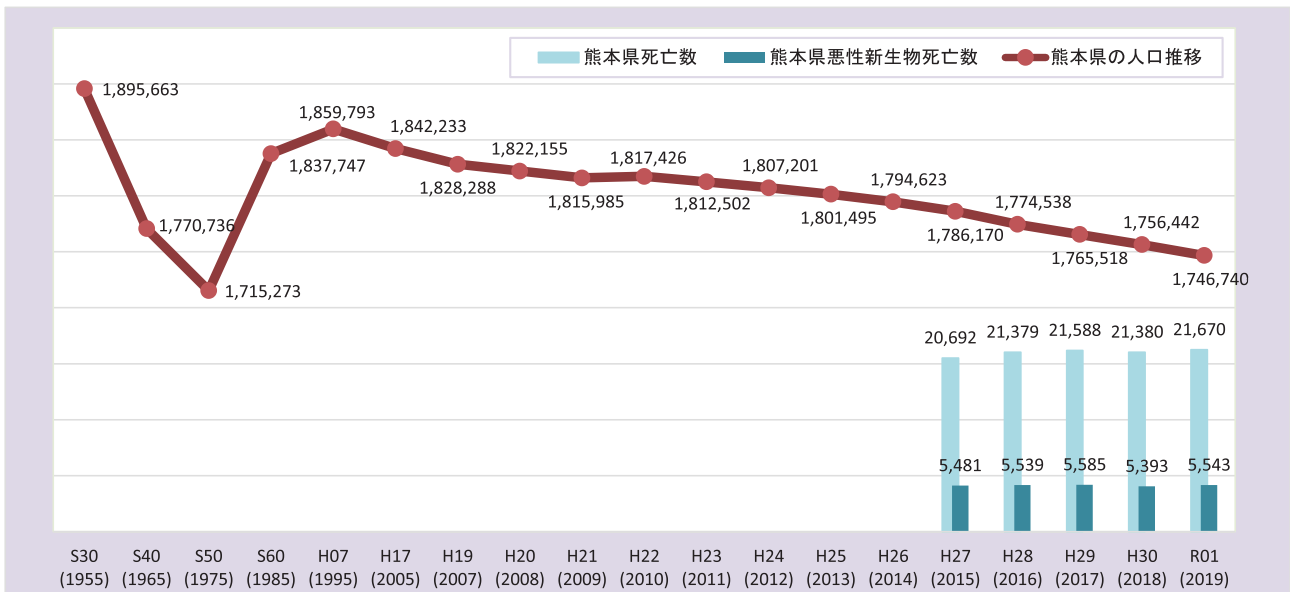
県内計: 17,042件 / 総計: 17,845件



* 診断時住所が県内の分のみでグラフ化(県外など計: 803件)

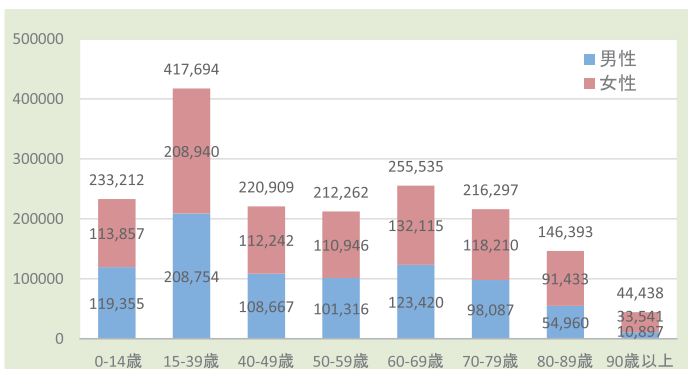
※ 推計人口は熊本県HP「令和元年熊本県の人口と世帯数(年報)第1表」より出典した。
 ※ 2019年症例登録数は件数≠人数である。(多重がん登録、患者重複あり)

(参考) 熊本県の人口推移と死亡の状況



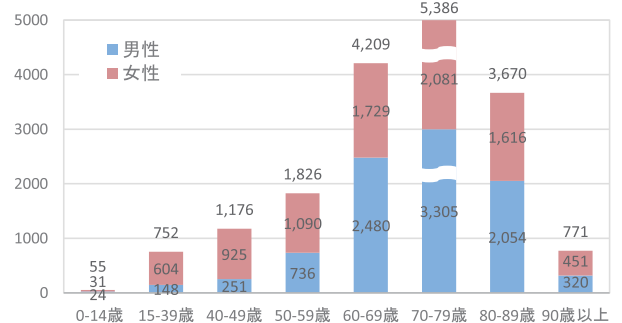
※ 熊本県の人口推移については、平成17年までは「国勢調査」、平成19年以降は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数(年報)」より出典した。
 ※ 熊本県死亡数については、厚生労働省人口動態統計(確定数)の概況-該当年の第3表-1(熊本県死亡総数)より出典した。
 ※ 熊本県悪性新生物死亡数については、国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(人口動態統計)-都道府県別がん死亡データ(熊本県悪性新生物死亡数)より出典した。

(参考) 熊本県の年代別人口 (R01.10.01現在)



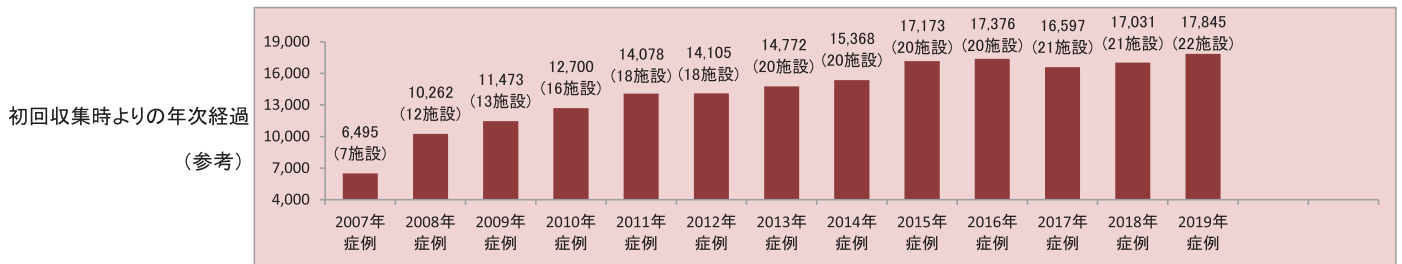
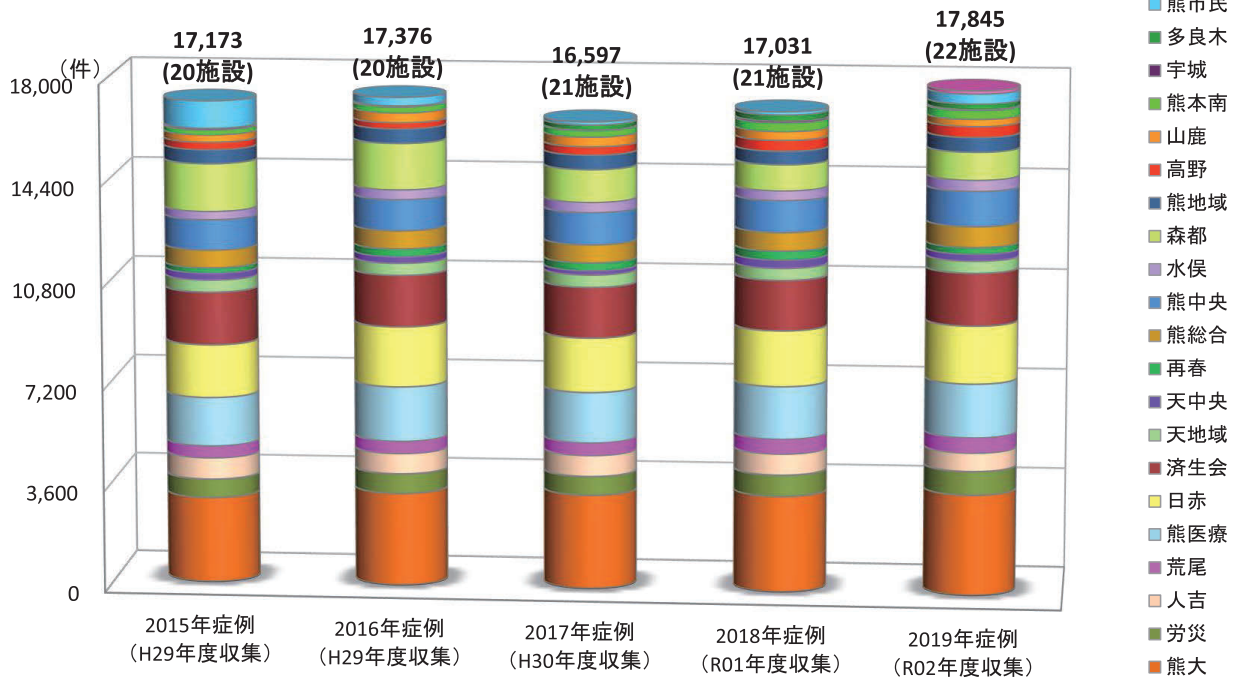
※ 推計人口は熊本県HP「令和元年熊本県の人口と世帯数(年報)第4表」より出典した。
 ※ 年齢は、本統計冊子で定めた区切り方による。
 (6頁 統計独自区分一覧<年齢区分>参照)

(参考) 2019年症例年代別登録数



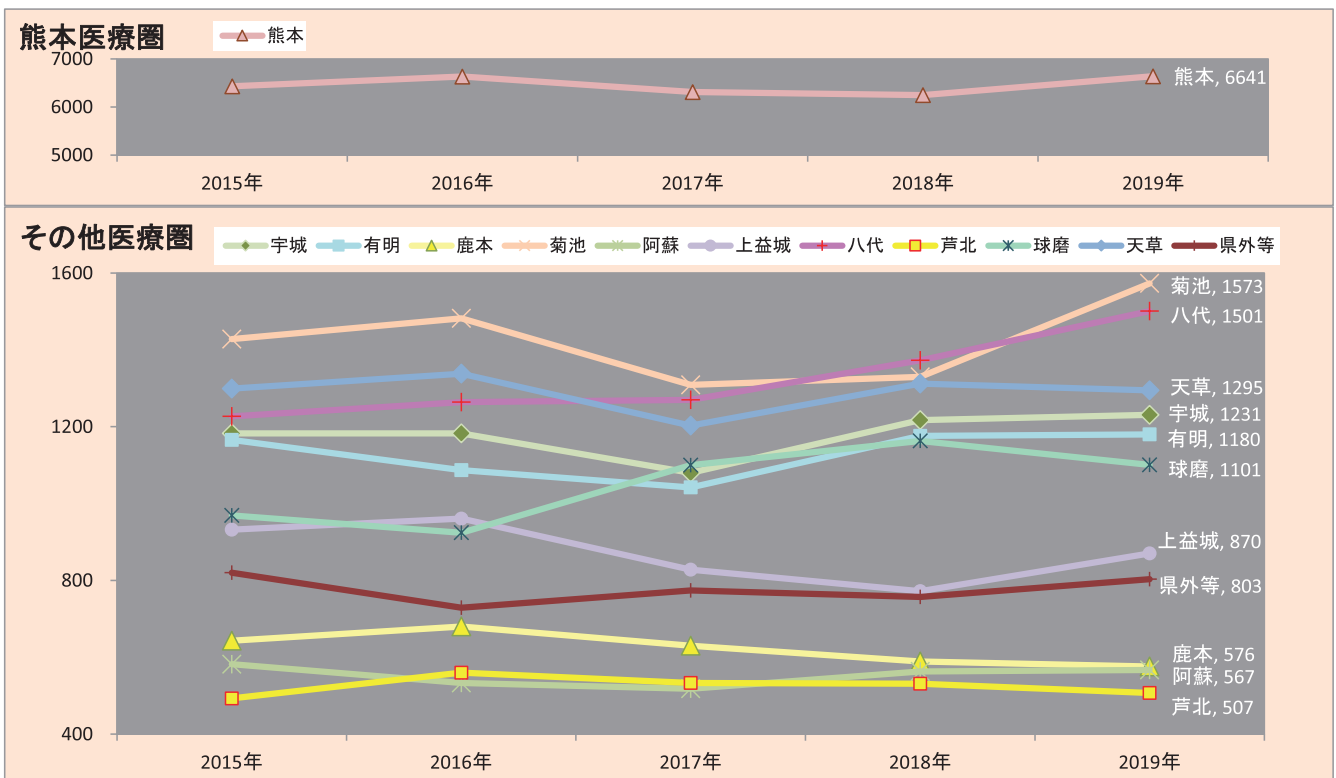
I 施設全体統計

2. 診断年別 登録件数



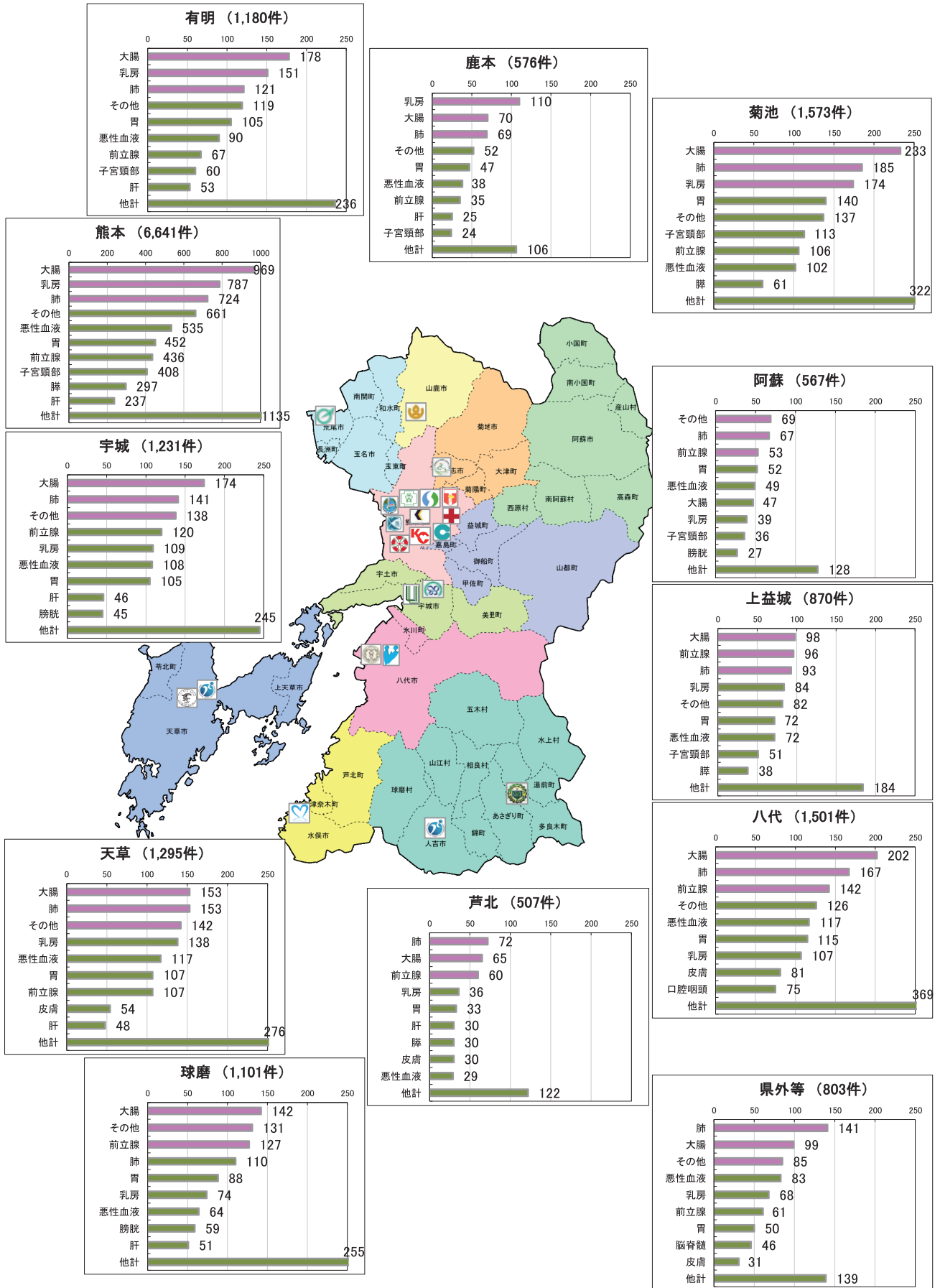
※ 上記件数＝患者数ではない。患者重複あり、多重がんありの総件数。

3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数



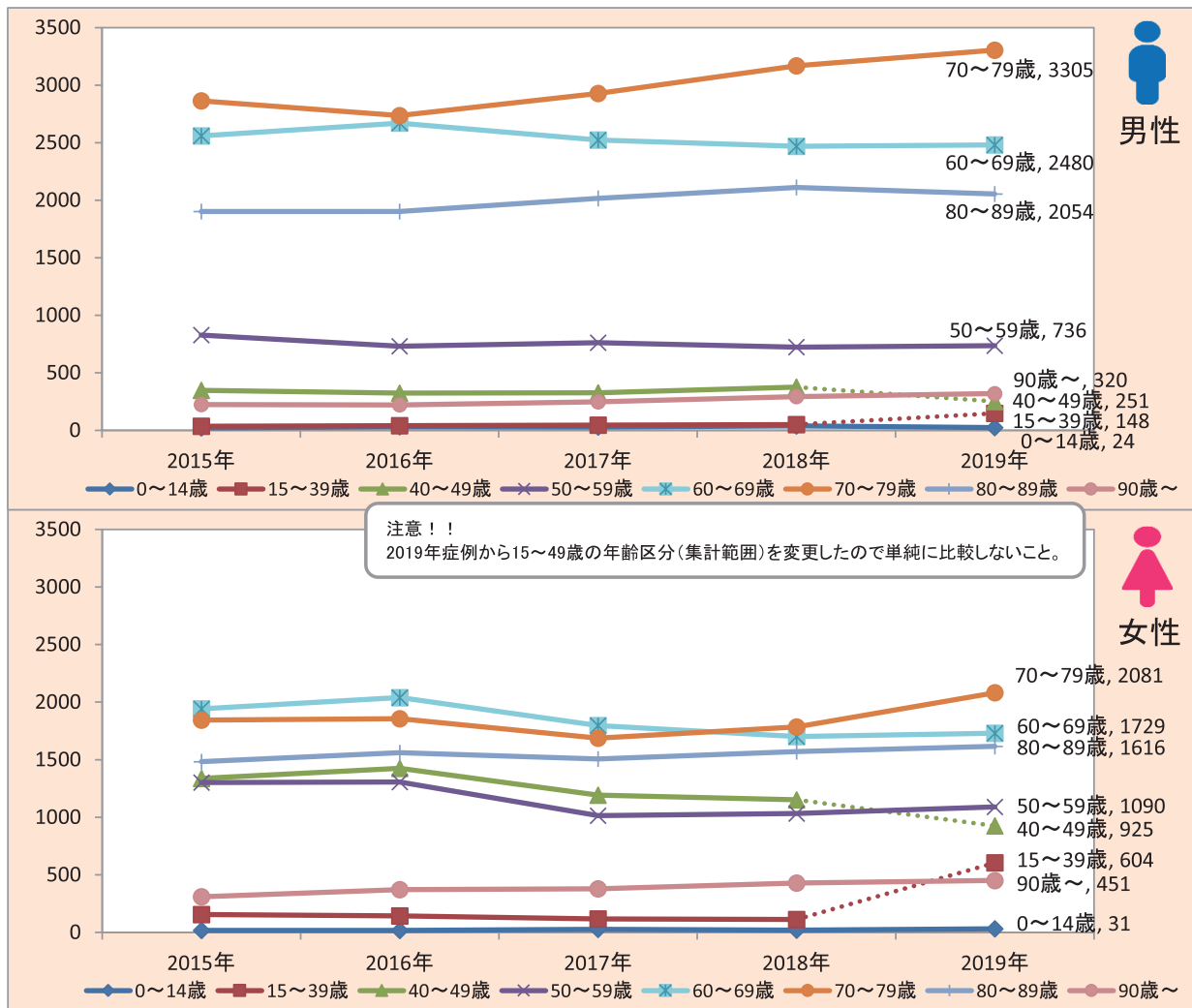
※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数

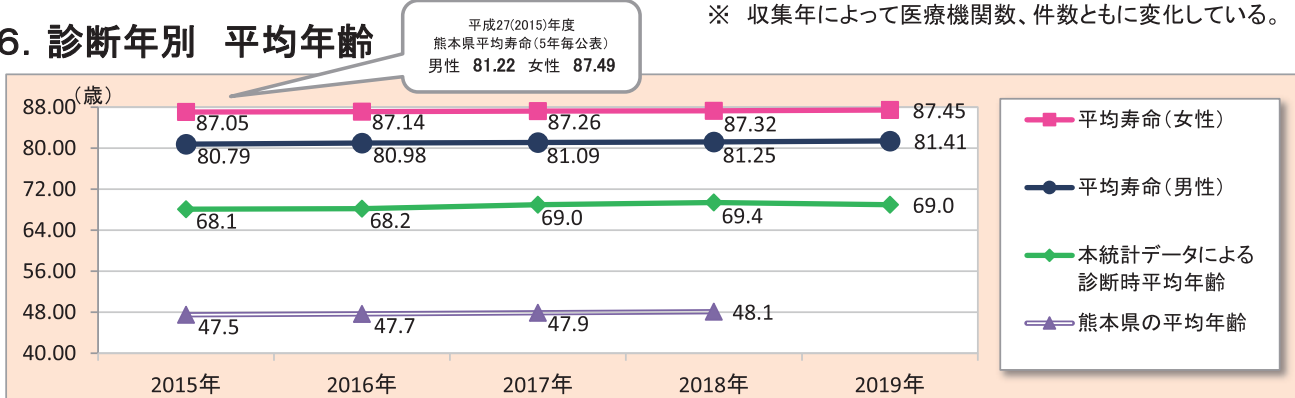


I 施設全体統計

5. 診断年別 年代別登録件数

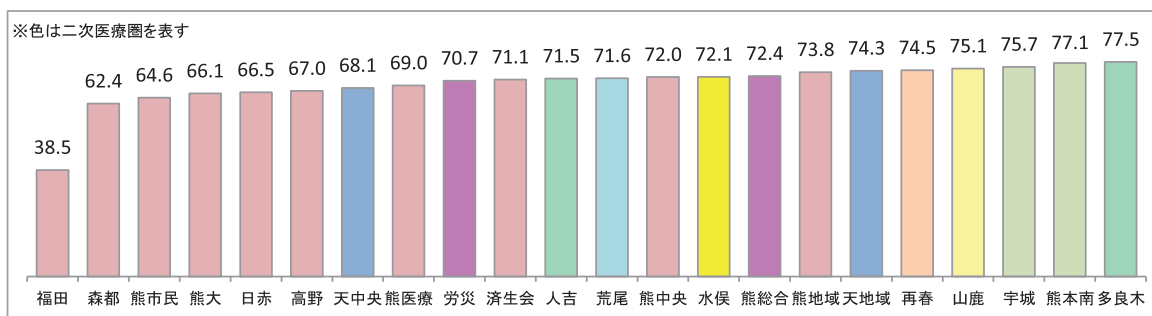


6. 診断年別 平均年齢



※ 平均寿命は、厚生労働省HP令和元年簡易生命表・都道府県別生命表より出典した。
 ※ 熊本県の平均年齢は、国立社会保障・人口問題研究所HP 人口統計資料集 都道府県別人口の平均年齢(熊本県の部分)より出典した。(統計作成時、公表は2018年まで)

(参考)
施設別
診断時
平均年齢



7. 性別年代別 主要部位別登録内訳

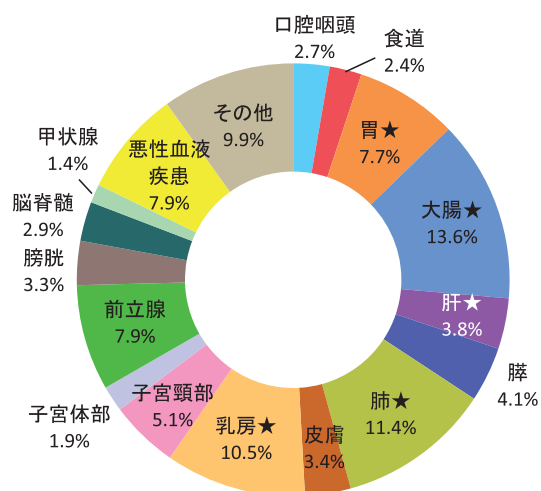
男性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	1,410	脳脊髄	11	悪性血液	36	大腸	61	大腸	142	大腸	400	前立腺	680	肺	310	肺	46
大腸	1,339	悪性血液	6	その他	36	その他	45	肺	88	肺	385	肺	481	前立腺	274	その他	45
肺	1,338	その他	5	脳脊髄	30	肺	24	その他	87	前立腺	379	大腸	438	大腸	237	大腸	41
その他	955	口腔咽頭	*	大腸	19	脳脊髄	19	悪性血液	71	その他	243	胃	336	胃	227	前立腺	41
胃	917	大腸	*	甲状腺	6	悪性血液	18	胃	61	胃	235	その他	291	その他	203	胃	37
悪性血液	759	食道		口腔咽頭	5	胃	17	肝	49	悪性血液	178	悪性血液	237	悪性血液	189	皮膚	27
肝	473	胃		肺	4	膀胱	16	口腔咽頭	47	食道	118	肝	171	膀胱	143	膀胱	24
膀胱	455	肝		肺	4	膀胱	16	膀胱	35	口腔咽頭	114	食道	142	皮膚	126	悪性血液	24
食道	369	膀胱		皮膚	4	口腔咽頭	9	膀胱	34	肝	112	膀胱	139	肝	117	肝	15
口腔咽頭	366	肺		甲状腺	*	甲状腺	9	前立腺	33	膀胱	108	膀胱	132	食道	71	膀胱	11
皮膚	332	皮膚		膀胱	*	肝	5	食道	29	膀胱	97	口腔咽頭	93	膀胱	67	口腔咽頭	6
脳脊髄	306	乳房		食道	*	皮膚	5	脳脊髄	28	脳脊髄	54	皮膚	89	口腔咽頭	57	食道	*
甲状腺	223	食道		乳房		食道	4	皮膚	21	皮膚	36	脳脊髄	56	脳脊髄	24	脳脊髄	*
乳房	71	乳房		乳房	*	前立腺	*	甲状腺	10	甲状腺	21	甲状腺	17	甲状腺	8	乳房	
子宮頸部	5	子宮頸部		子宮頸部		子宮頸部		乳房	*	乳房	*	乳房	*	乳房	*	子宮頸部	
子宮体部		膀胱		子宮体部		子宮体部		子宮頸部		子宮頸部		子宮体部		子宮頸部		子宮体部	
計	9,318	計	24	計	148	計	251	計	736	計	2,480	計	3,305	計	2,054	計	320

女性全体		0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	1,972	悪性血液	18	子宮頸部	328	乳房	317	乳房	372	乳房	484	乳房	389	大腸	259	大腸	79
大腸	1,091	その他	7	乳房	89	子宮頸部	290	子宮頸部	135	大腸	248	大腸	322	乳房	193	皮膚	71
子宮頸部	915	脳脊髄	*	その他	39	大腸	64	子宮体部	126	その他	181	肺	278	その他	186	その他	65
その他	813	口腔咽頭	*	脳脊髄	34	その他	57	大腸	100	肺	144	悪性血液	195	悪性血液	182	膀胱	39
肺	705	肝	*	悪性血液	24	子宮体部	56	その他	85	悪性血液	101	その他	194	肺	165	肺	38
悪性血液	645	食道		甲状腺	23	悪性血液	35	肺	60	子宮頸部	85	胃	137	胃	141	胃	36
胃	449	胃		甲状腺	19	悪性血液	22	悪性血液	59	胃	84	膀胱	116	皮膚	119	悪性血液	31
子宮体部	364	大腸		大腸	14	甲状腺	21	脳脊髄	52	膀胱	71	皮膚	70	膀胱	103	乳房	28
皮膚	343	膀胱		口腔咽頭	10	胃	19	胃	24	脳脊髄	71	脳脊髄	70	肝	65	肝	17
脳脊髄	304	肺		胃	8	肺	13	膀胱	20	子宮体部	68	肝	61	口腔咽頭	46	口腔咽頭	11
肝	302	皮膚		膀胱	7	膀胱	8	甲状腺	16	甲状腺	55	子宮体部	51	膀胱	44	膀胱	11
甲状腺	202	乳房		肺	7	口腔咽頭	6	口腔咽頭	12	肝	45	膀胱	48	脳脊髄	43	子宮頸部	7
甲状腺	177	子宮頸部		食道	*	食道	6	皮膚	8	皮膚	29	甲状腺	48	子宮頸部	25	脳脊髄	6
口腔咽頭	152	子宮体部		皮膚	*	食道	6	食道	7	口腔咽頭	25	子宮頸部	45	子宮体部	24	食道	4
膀胱	133	前立腺		肝	*	肝	*	肝	7	膀胱	21	口腔咽頭	40	食道	11	子宮体部	4
食道	60	膀胱		前立腺	*	膀胱	*	膀胱	7	食道	17	食道	17	甲状腺	10	甲状腺	4
前立腺		甲状腺		膀胱		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺	
計	8,527	計	31	計	604	計	925	計	1,090	計	1,729	計	2,081	計	1,616	計	451

総数	
大腸★	2,430
肺★	2,043
乳房★	1,877
その他	1,768
前立腺	1,410
悪性血液	1,404
胃★	1,366
子宮頸部	915
膀胱	733
肝★	675
皮膚	610
膀胱	588
脳脊髄	525
口腔咽頭	484
食道	426
子宮体部	343
甲状腺	248
計	17,845

I 施設全体統計

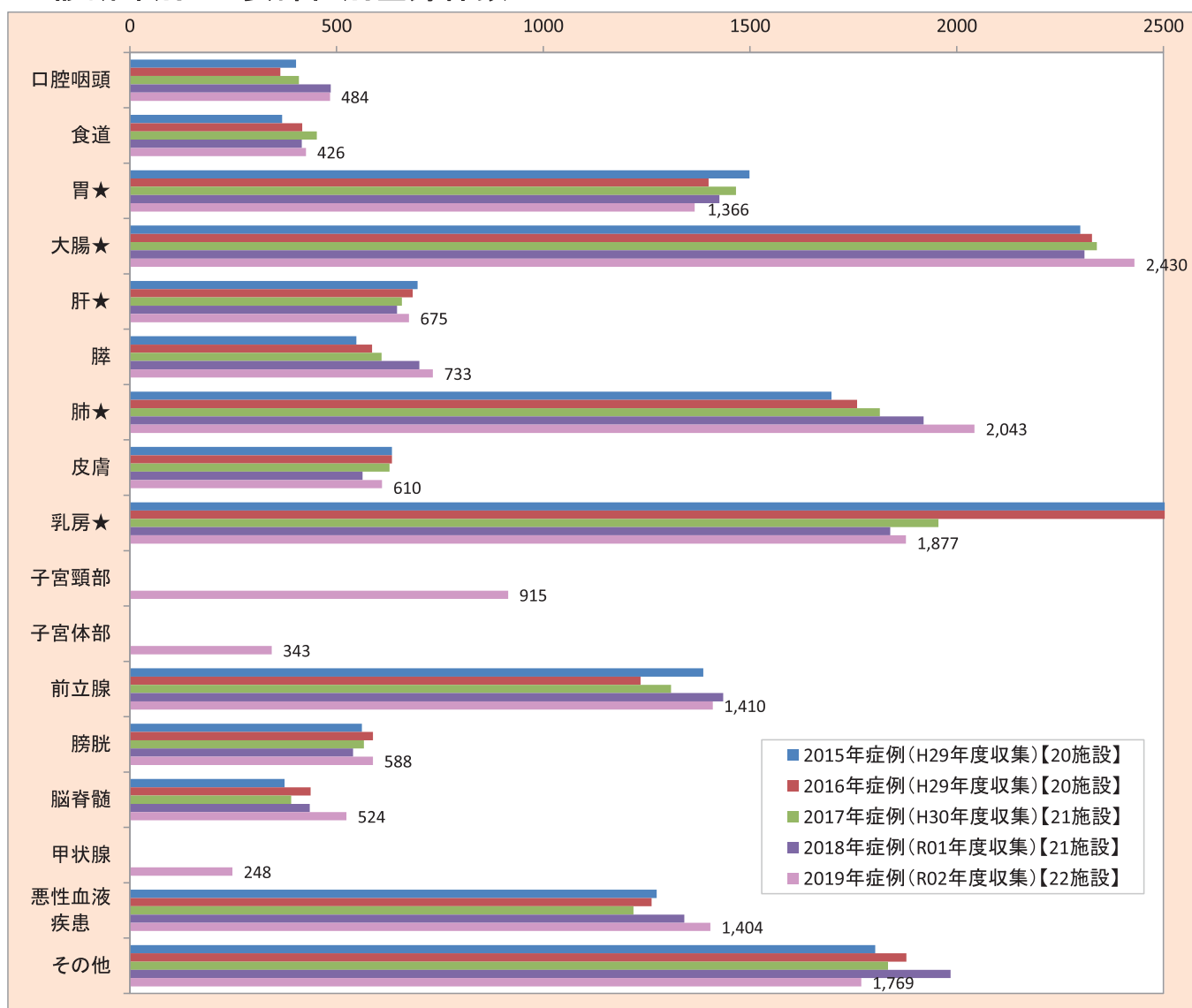
8. 主要部位別 登録件数と割合



部位	ICD-O-3コード	2019年 症例
口腔咽頭	C00-C14	484
食道	C15	426
胃★	C16	1,366
大腸★	C18-C20 (結腸、直腸)	2,430
肝★	C22	675
膵	C25	733
肺★	C33-C34	2,043
皮膚	C44	610
乳房★	C50	1,877
子宮頸部	C53	915
子宮体部	C54	343
前立腺	C61	1,410
膀胱	C67	588
脳脊髄	C70-C72,C751-753	524
甲状腺	C73	248
悪性血液疾患	形態コード959-999,C421 (白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍)	1,404
その他	上記以外	1,769
計		17,845

※ 先に形態コード(959-999)で集計後、局在コード(C**)で集計する。
 ※ ★は5大部位。

9. 診断年別 主要部位別登録件数



※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
 ※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

10. 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	484	33	115	82	41	156	57
食道	426	45	171	35	42	81	52
胃★	1,366		780	101	100	259	126
大腸★	2,430	438	484	507	409	394	198
肝★	675		247	140	97	85	106
膵	733	9	154	101	96	309	64
肺★	2,043	50	691	128	274	718	182
皮膚	610	130	343	64	27	13	33
乳房★	1,877	202	737	390	100	82	366
子宮頸部	915	694	70	49	46	24	32
子宮体部	343		214	10	55	33	31
前立腺	1,410		425	385	234	239	127
膀胱	588	210	174	62	48	20	74
脳脊髄	524						524
甲状腺	248		136	58	10	9	35
悪性血液疾患	1,404		186	125	100	190	803

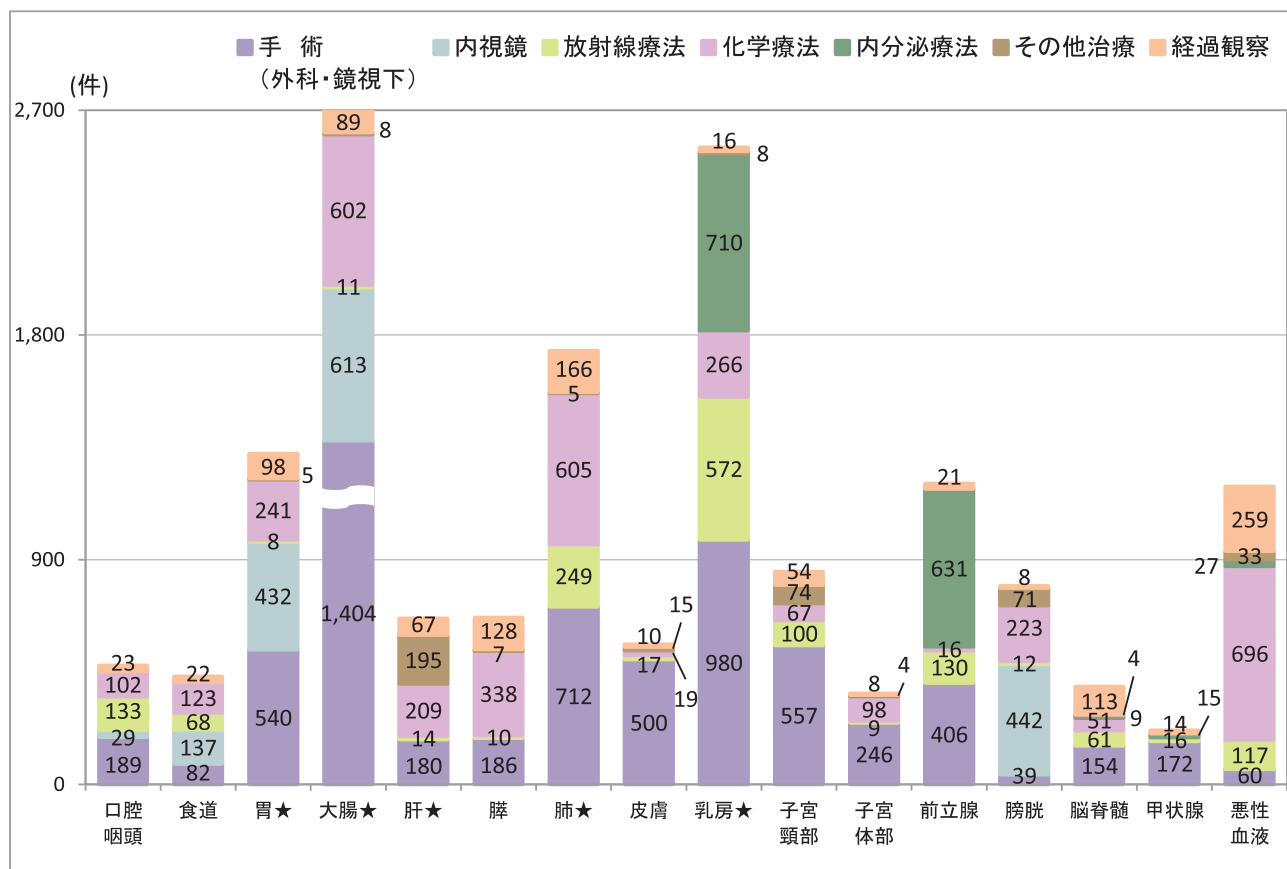
※ 総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)

※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage

※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものは「その他」として集計

※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

11. 主要部位別治療の内訳



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計

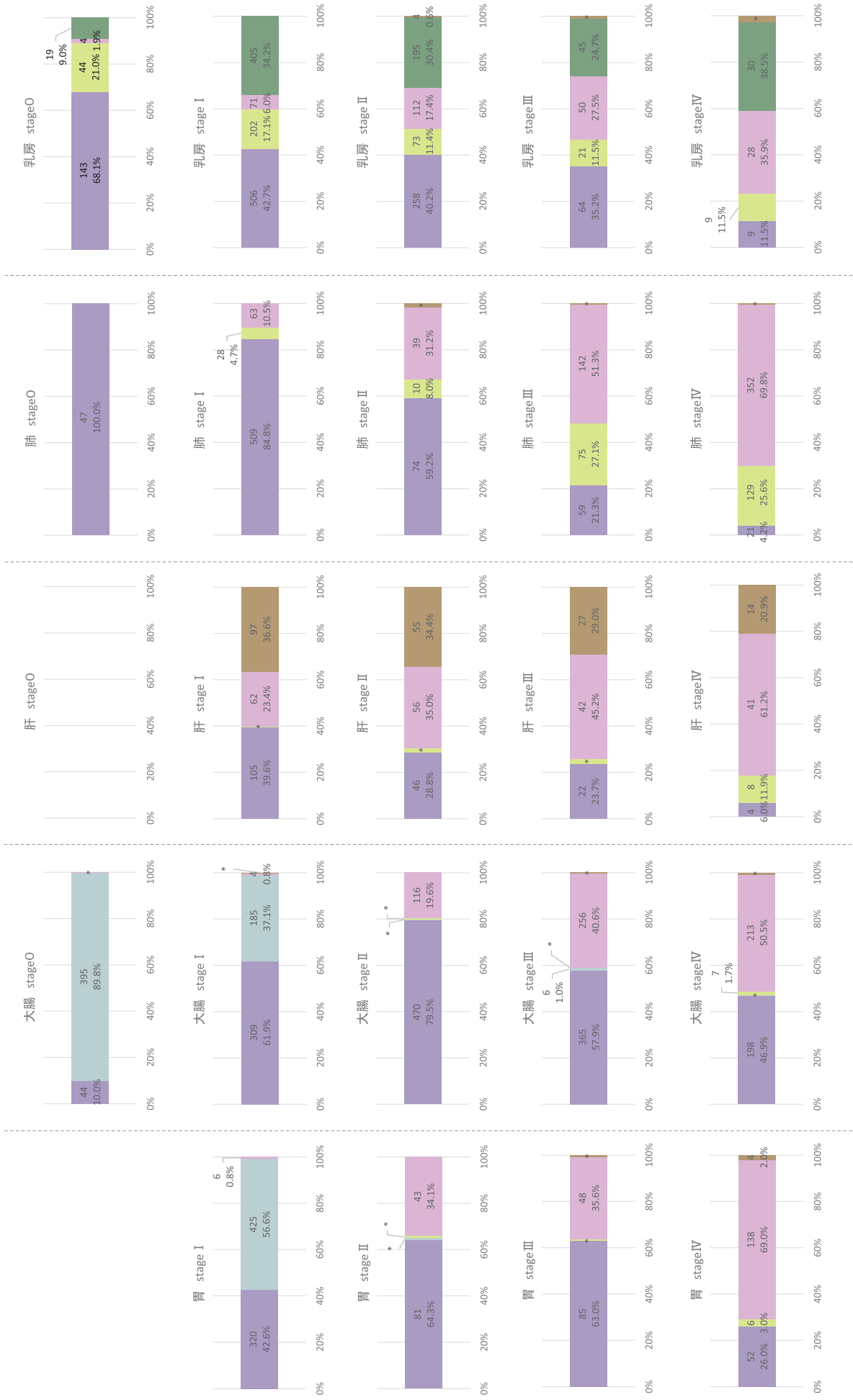
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

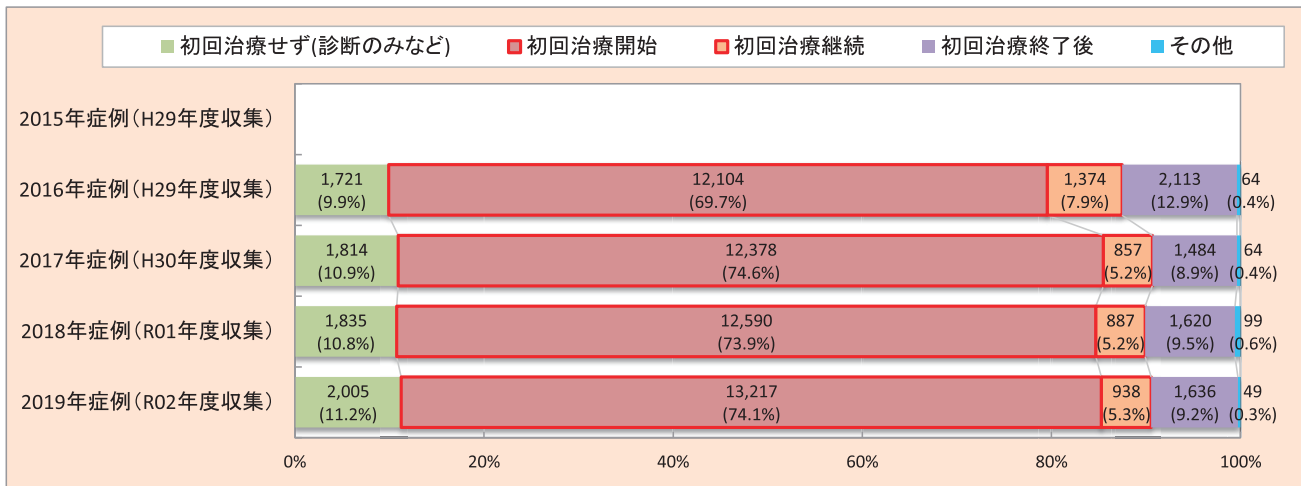
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

12. 5大部位(総合Stage別)の主な治療内訳

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々種算
 ※ 分類はUICC8版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと(経過観察は含まない)

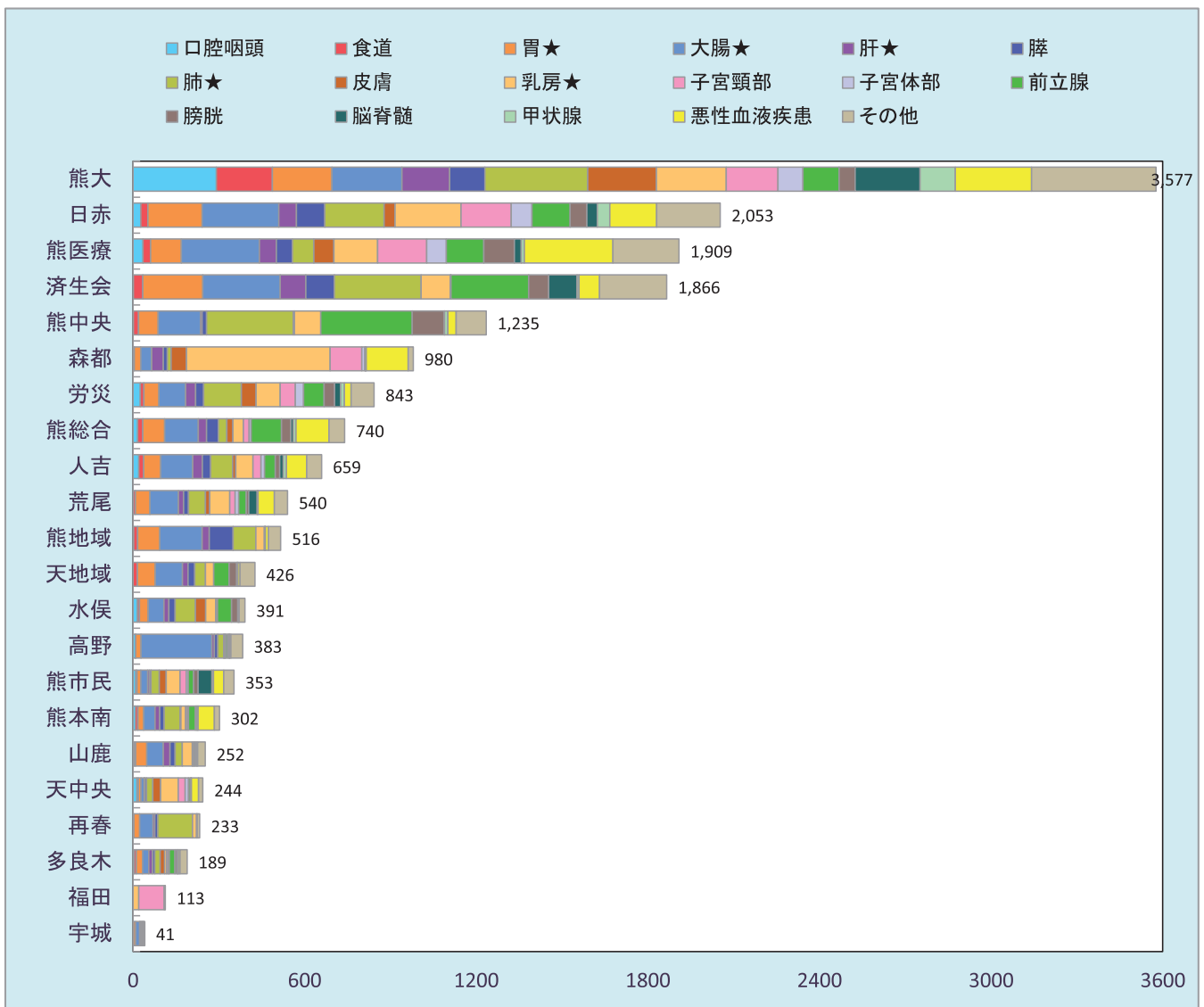


13. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)



※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
 ※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

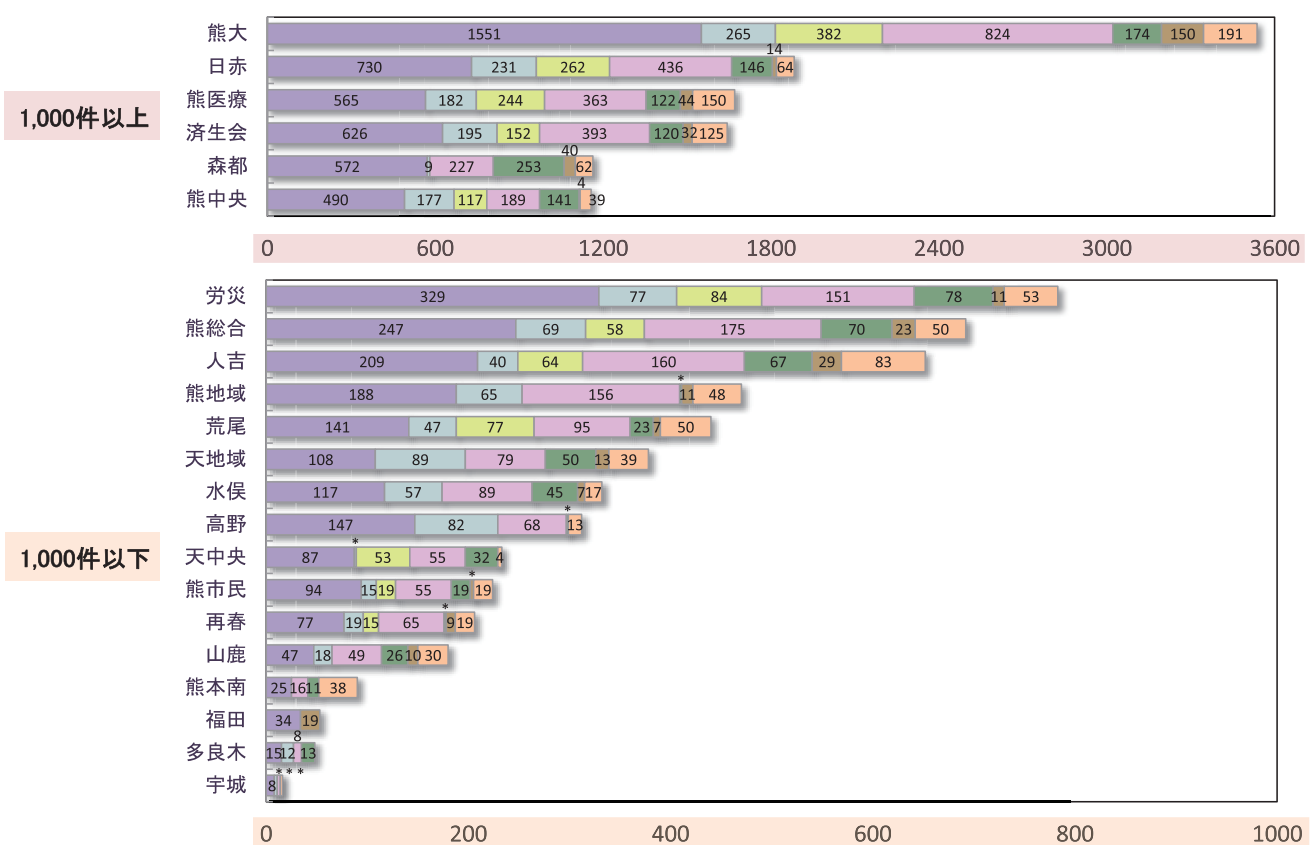
14. 施設別 主要部位別登録件数



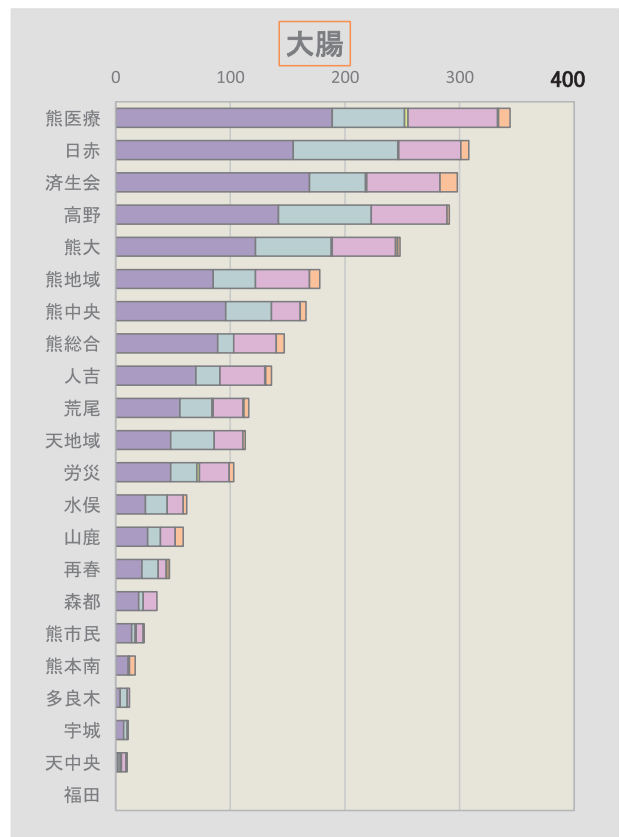
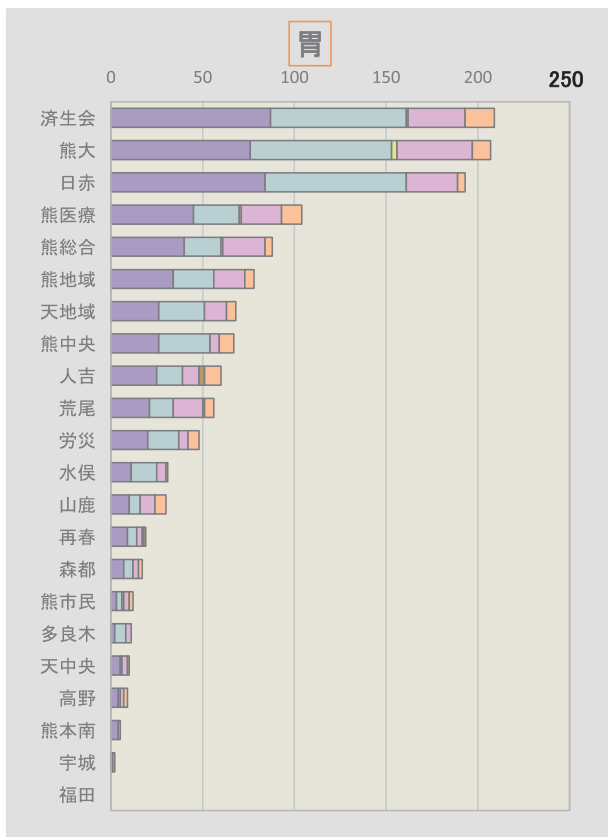
※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

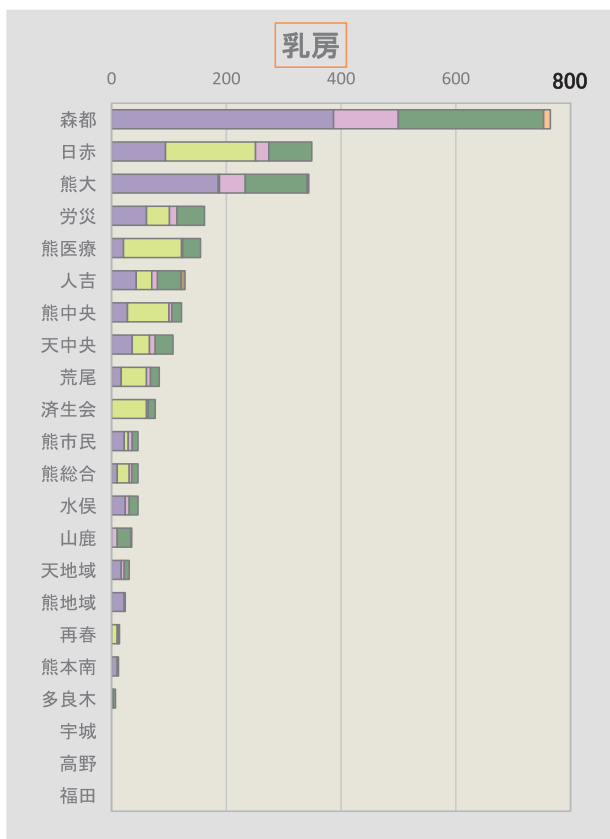
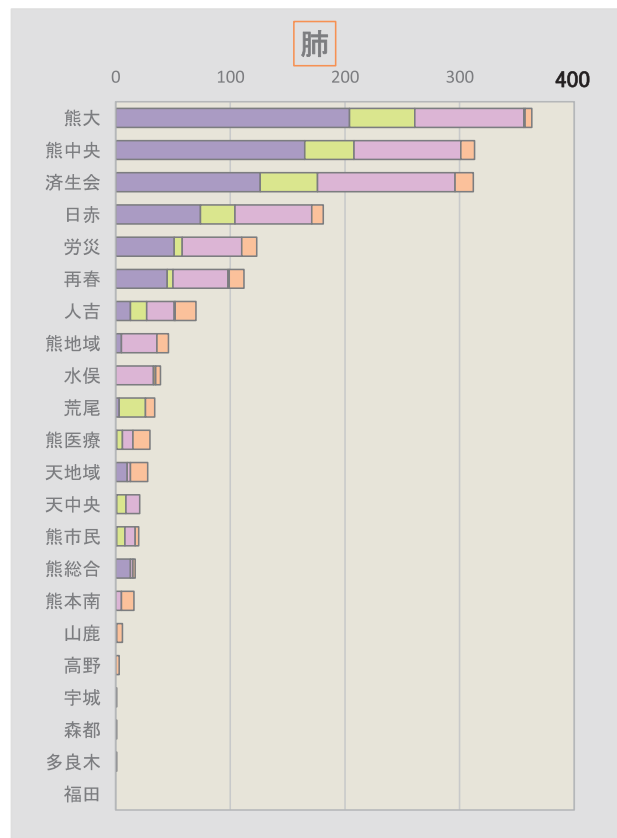
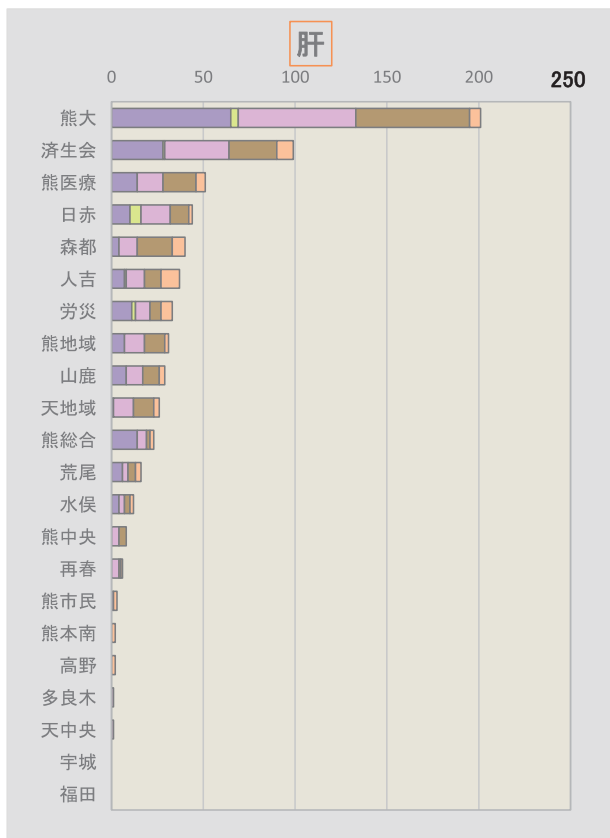
I 施設全体統計

15. 施設別 治療(初回治療開始+初回治療継続)件数



16. 5大部位別 施設別治療の内訳





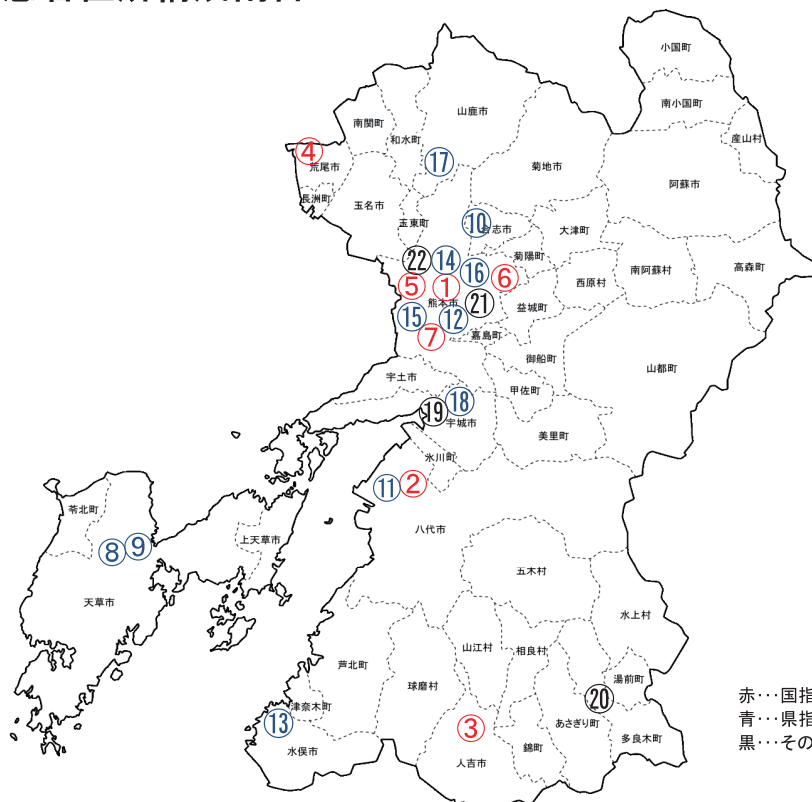
◇ 15. 16. 共通

- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療



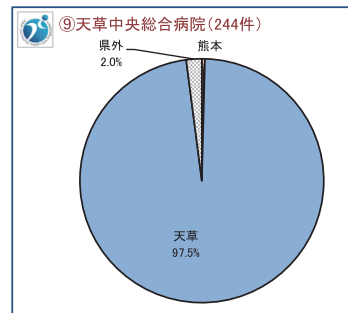
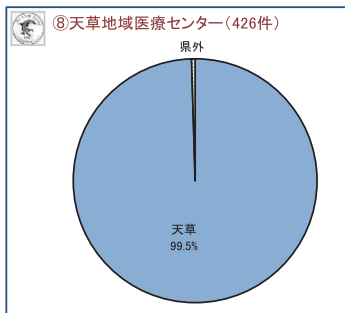
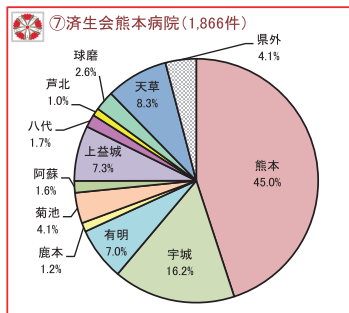
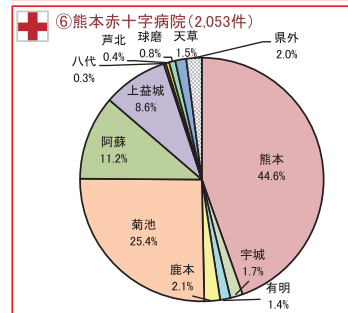
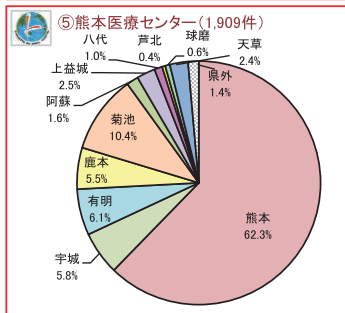
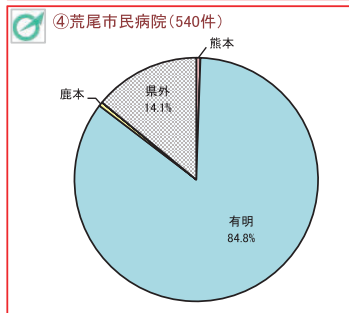
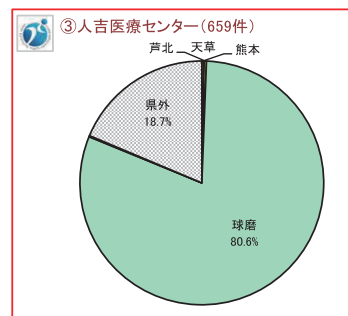
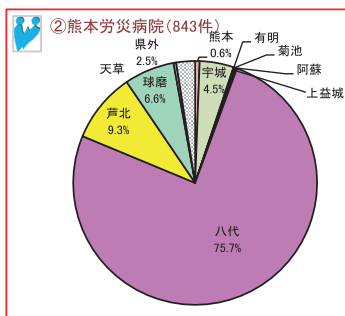
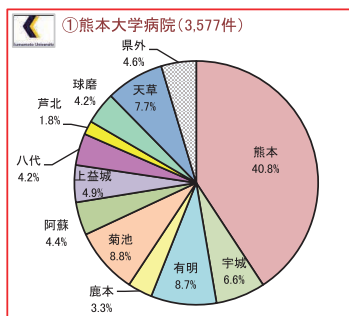
I 施設全体統計

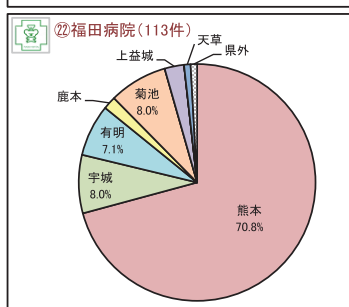
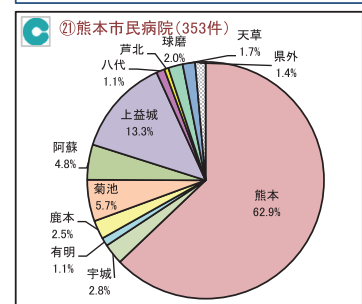
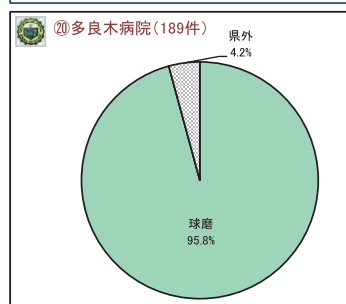
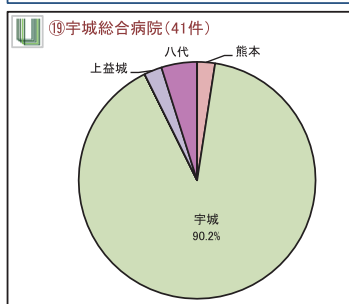
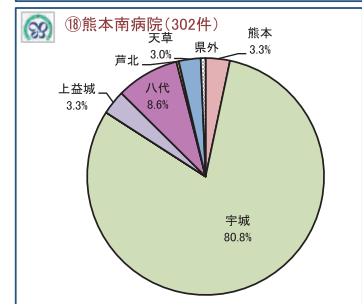
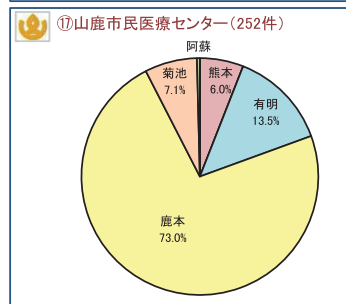
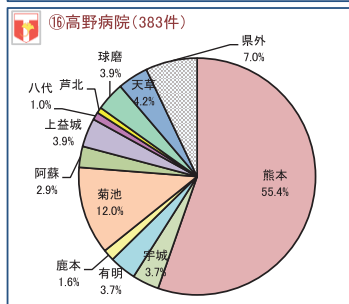
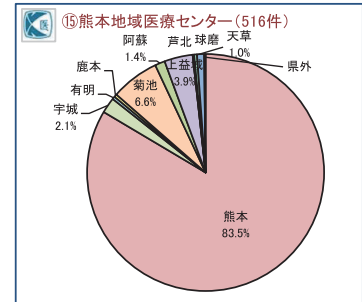
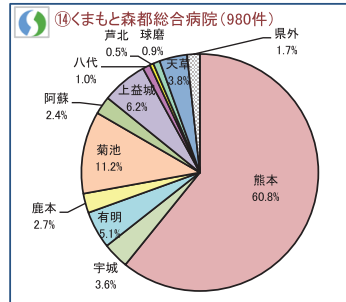
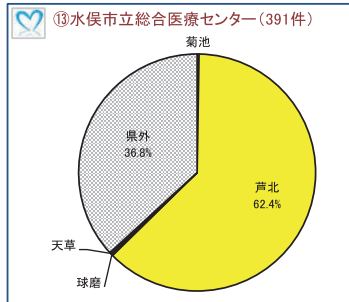
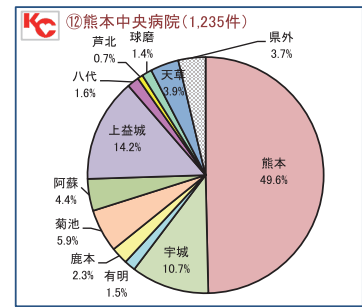
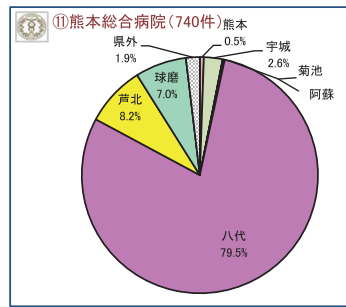
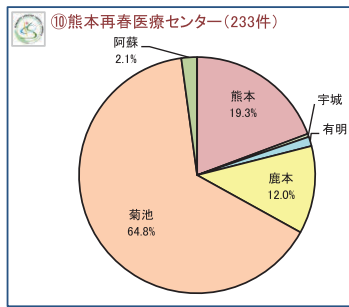
17. 施設別 患者住所構成割合



赤・・・国指定のがん診療連携拠点病院
 青・・・県指定
 黒・・・その他がん登録部会参加施設

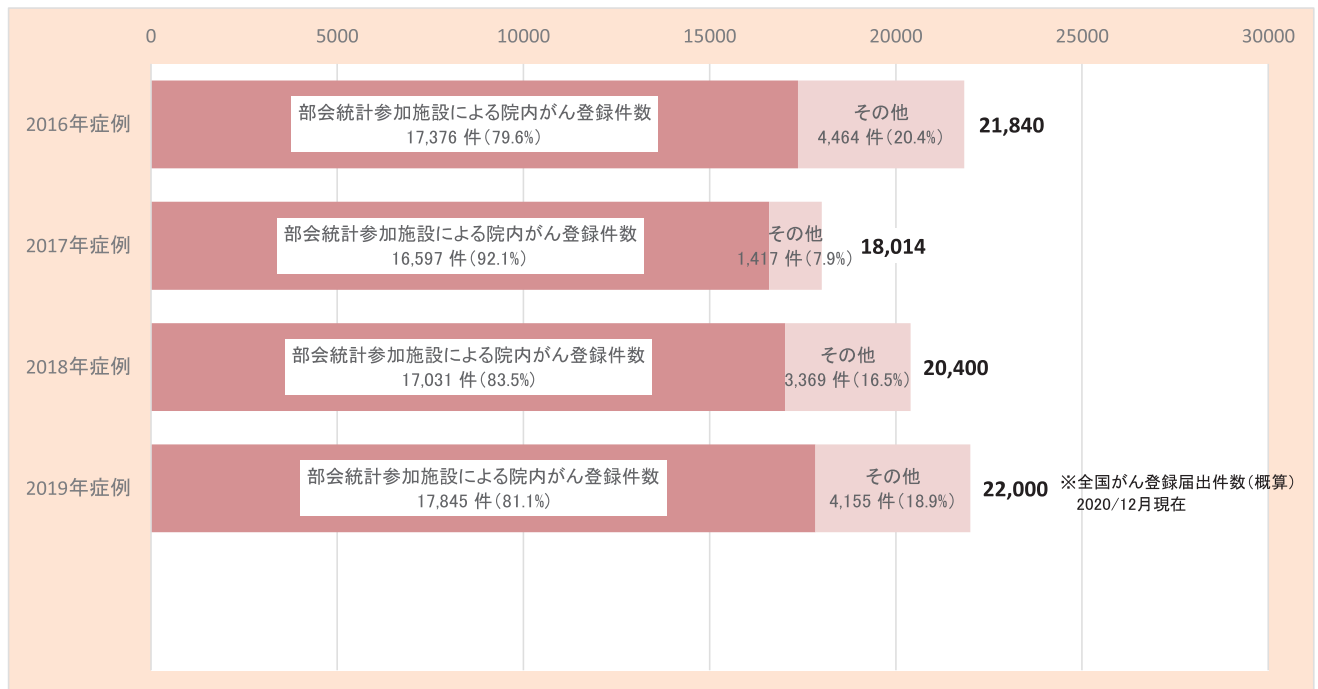
※ 3件以下の地域は%が非表示





I 施設全体統計

18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況



- * この図は、院内がん登録でどの程度全国がん登録をカバーしているかを見るためのものである。(院内がん登録では同一患者同一がんを1件に集約する作業はしないため患者重複がある。また全国がん登録届出件数は該当年以外の診断症例も含まれている点に留意。院内・全国がん登録は集約方法等が異なるため、あくまで参考値として捉えること。)
- * 部会統計参加施設による院内がん登録件数は、2020年12月に当部会へ提出された各施設の院内がん登録件数の集計数。(部会統計については、収集年によって参加施設数、件数ともに変化している。)
- * その他は、部会統計参加施設以外の施設と参加施設の追加提出分などの件数。
- * 全国がん登録届出件数(概算)は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。

(参考) 熊本県の全国がん登録届出医療機関数と全国がん罹患数

診断年	病院数	診療所数	計	全国がん罹患数
2016年	214	59	273	16,692(14,907)
2017年	214	59	273	15,628(13,870)
2018年	214	59	273	2021/01月現在未公表
2019年	211	60	271	

- * 全国がん登録届出医療機関数は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。
- * 全国がん登録届出医療機関数は、該当年の12月現在の件数である。
- * 全国がん罹患数は、厚生労働省HP「全国がん登録罹患数・率報告(熊本県の部分)」より出典した。表の()内は上皮内がんを除いた件数。

(参考) 熊本県の病院数と病床数(H31(2019).4.1現在)

医療圏	病院数			病院病床数			診療所数			診療所病床数		
	2018年	2019年	前年差	総数(2018年)	総数(2019年)	前年差	2018年	2019年	前年差	総数(2018年)	総数(2019年)	前年差
熊本	95	95	0	15,481	15,439	-42	621	632	11	1,805	1,803	-2
宇城	12	11	-1	1,852	1,755	-97	71	71	0	262	262	0
有明	12	12	0	2,444	2,390	-54	130	133	3	497	482	-15
鹿本	6	6	0	840	840	0	44	45	1	231	215	-16
菊池	16	16	0	3,391	3,383	-8	135	138	3	314	314	0
阿蘇	6	6	0	971	966	-5	44	46	2	112	93	-19
上益城	13	13	0	1,264	1,181	-83	61	61	0	179	133	-46
八代	12	11	-1	2,384	2,318	-66	130	133	3	491	437	-54
芦北	11	11	0	1,493	1,453	-40	47	47	0	229	229	0
球磨	13	13	0	1,593	1,546	-47	81	81	0	264	264	0
天草	18	18	0	2,878	2,829	-49	106	105	-1	507	475	-32
計	214	212	-2	34,591	34,100	-491	1,470	1,492	22	4,891	4,707	-184

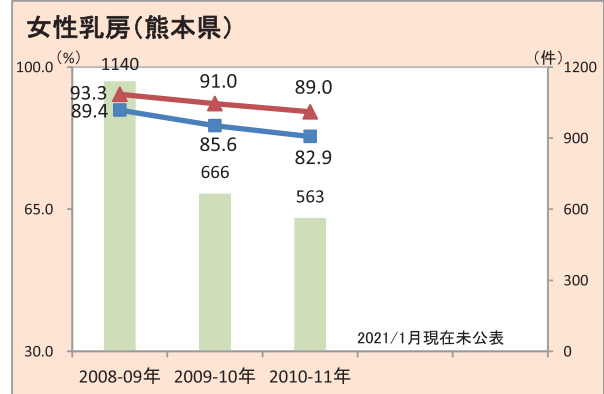
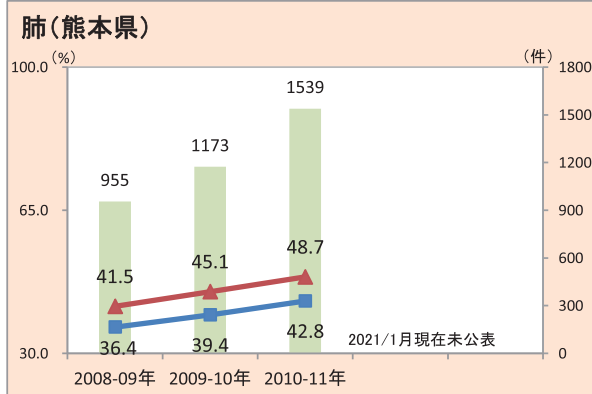
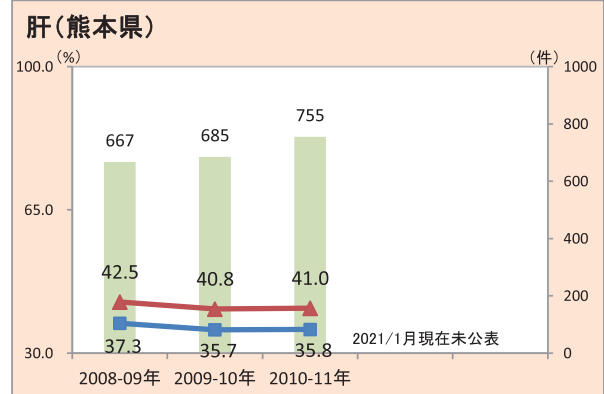
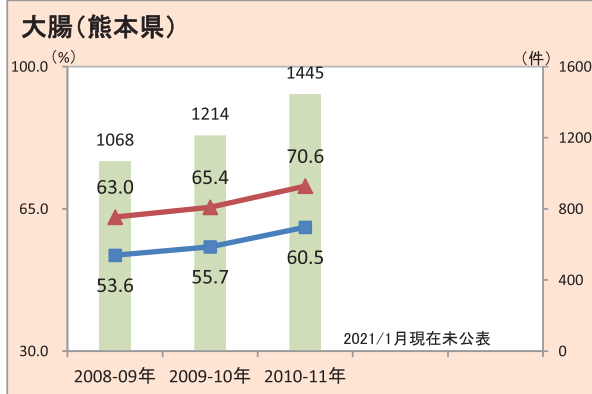
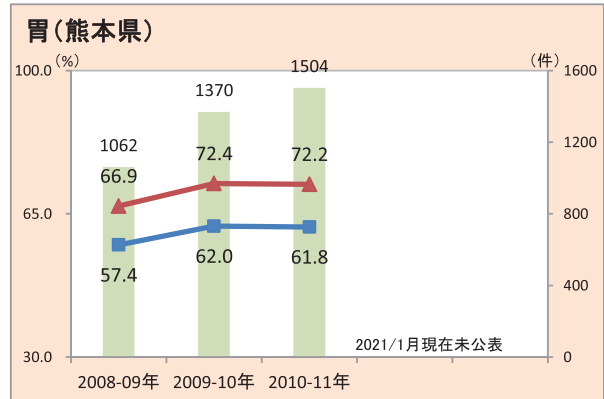
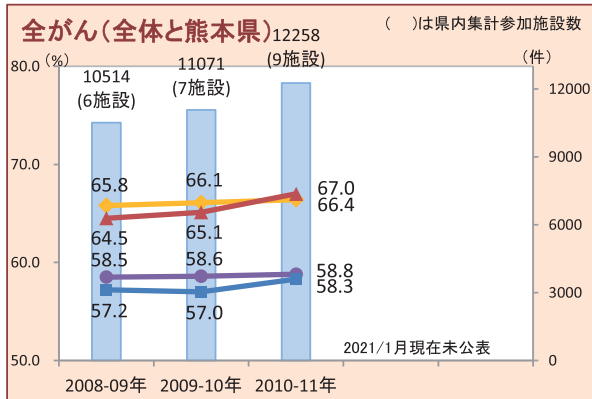
- * 該当年の件数は熊本県HP「医療施設一覧(平成31(2019)年4月1日現在)」より出典した。
- * 表の総数とは一般、療養、精神、結核、感染症病床の合計である。

19. 集計年別 5年生存率の推移 (がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)

条件

- ◆がん診療連携拠点病院/該当年の院内がん登録全国集計にデータ提供を行った都道府県推薦病院のうち以下の条件を満たした施設
 - ・ 該当年の通年データを持ち、予後情報付腫瘍データの提供ができる施設
 - ・ 生存状況把握割合が90%を超えた施設

■ 熊本県集計件数 ■ 全体(実測) ◆ 全体(相対) ■ 熊本県(実測) ▲ 熊本県(相対)



※ この頁は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室による「がん診療連携拠点病院等院内がん登録 5年生存率集計 報告書 付表2. 都道府県別5年生存率集計」のうち、熊本県の部分から出典した。(URL https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv.html)

※ この頁は、がん診療連携拠点病院等の一部施設のデータ集計値で5年生存率を算出したものである。ただしこれは県内のごく一部の医療機関の数値をまとめたものにと過ぎず、部位・ステージ・合併症・年齢などの考慮は反映されていないため、必ずしも県全体の実態を表すものではないことに留意すること。

尚、同報告書の【データ精度は都道府県によっても異なる可能性があり、施設数が少ない都道府県のデータは、かなり偏りあるいは不正確さが存在している可能性があり推定された生存率の解釈には注意を要する。単純に本集計結果をもって当該都道府県のがん医療の優劣の評価にはつながらないことに留意されたい。各がん診療連携拠点病院等におけるがん診療体制の違いによる対象者の違いや併存症、重症度等も生存率には影響を与えることに留意する必要がある。】との但し書きにある通り、数値については十分ご留意の上、参照していただきたい。

※ 実測(生存率)とは、死因に関係なく全ての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

※ 相対(生存率)とは、生存率を計算する対象者と同じ特性(性、年齢、暦年など)を持つ一般集団の期待生存率より算出した期待生存率で実測生存率を割ることによって、他死因を補正する方法。期待生存率は国立がん研究センターが公表しているコホート生存率表を利用して求めている。